

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

社会福祉運営事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。

効果 社会福祉の増進に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・ 福祉総合システムに係る経費を執行した。
- ・ 社会福祉法人の設立、定款変更等の認可事務を行った。
- ・ 社会福祉法人の指導監査等を実施した。
- ・ ポスターコンテストなどの社会を明るくする運動事業を保護司会とともにを行った。
- ・ 更生保護の活動に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,634	43,634	42,092		1,542
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	福祉総合システム等消耗品費		1,628	1,181
	印刷製本費		22	12
13節	福祉総合システム機器保守委託料		482	0
	社会福祉法人監査支援業務委託料		1,375	1,155
	緊急援護貸付等事業委託料		30	30
14節	福祉総合システム機器賃借料		6,372	6,333
	福祉総合システム使用料		32,960	32,960
	社会を明るくする運動大会会場使用料		52	47
19節	社会資源検索システム運用経費負担金		183	183
	緊急援護貸付等事業負担金		350	11
	保護司会補助金		180	180

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

社会福祉協議会支援事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 社会福祉協議会の財政基盤を安定させることにより、地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付するとともに、外部講師による研修等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,630	52,630	52,360		270
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 鎌倉市社会福祉協議会研修等謝礼			300	30
19節 鎌倉市社会福祉協議会補助金			52,330	52,330

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

共生社会推進事業

【 地域共生課・福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 共生社会の構築に向けた施策を推進するため。

効果 社会との関わりの中で何らかの障害に直面している人をはじめ、すべての市民が安心して自分らしく暮らすことのできる共生社会を実現する。

【 事業の内容 】

- ・福祉分野の課題解決等、横断的なコミュニティづくりを目指し、(仮称)地域共生プラットフォームの検討を行った。
- ・ケアラー支援のための鎌倉市ケアラー支援条例を制定した。
- ・現状や将来に不安を抱く市民が長期的な視野を持ち、社会とのつながりを得ることができるよう鎌倉版フォルケホイスコーレ事業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,298	6,798	6,327		471
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	共生社会推進の参加型事業に係る報償費		279	146
	共生社会推進に係るヒアリング謝礼		800	60
11節	消耗品費		28	0
	印刷製本費		45	15
13節	鎌倉版フォルケホイスコーレ事業運営業務委託料		6,000	6,000
14節	会場使用料等		96	56
19節	地域共生政策自治体連携機構負担金		50	50

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

包括的支援体制推進事業

【 福祉総務課・高齢者いきいき課
・介護保険課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 地域共生社会の実現に向け、包括的な支援体制を推進するため。

効果 市民の相談を包括的に受け止め、複合化した課題への対応が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 解きほぐしが求められる複合的な課題を抱えた世帯等に対して、関係する支援機関の役割分担や支援の方向性を整理した。
- ・ 地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のため、地域包括支援センターにおいて包括的・総合的支援を行った。
- ・ 生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携し、多様な日常生活上の支援体制の充実に努めるとともに、地域住民の社会参加を推進した。
- ・ 鎌倉市介護保険第1号被保険者等及びその支援のための活動に関わる者を対象に、要介護状態になることの予防と心身状態の悪化防止を目的とした事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
310,779	310,779	308,862		1,917
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	地域介護予防活動支援事業等講師等謝礼	369	150	
11節	消耗品費	20	15	
12節	郵便料	212	159	
13節	相談支援包括化推進業務委託料	15,962	15,962	
	地域包括支援センター委託料	257,061	255,685	
	生活支援体制整備事業委託料	28,575	28,575	
19節	地域介護予防活動支援事業補助金	8,430	8,276	
	フレイル予防活動事業補助金	150	40	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			181,705

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

民生委員児童委員活動推進事業

【

生活福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,537	36,953	36,274		679
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	民生総務嘱託員報酬 20人		3,696	3,696
	民生嘱託員報酬 199人		30,653	29,462
	民生委員推薦会報酬 4人		126	84
9節	民生委員推薦会等費用弁償		15	0
14節	民生委員児童委員会場使用料		205	191
19節	民生委員児童委員協議会補助金		2,842	2,841
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			14,707

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民

意図 戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

【 事業の内容 】

- ・戦没者の追悼式典を遺族等と行った。
- ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。
- ・戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,007	3,007	2,462		545
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	戦没者追悼式位牌借用謝礼		5	5
11節	消耗品費		3	3
13節	戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料		55	55
	戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料		221	221
14節	戦没者追悼式会場使用料		42	39
19節	鎌倉市遺族会補助金		158	158
	鎌倉市被爆者の会補助金		75	75
20節	被爆者援護手当 82人		2,448	1,906
<主な特定財源>				
	・国県支出金			187

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

行旅病人死亡人援護事業

【

生活福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 行旅病人の援護は該当がなかったため実施しなかった。
- ・ 行旅死亡人の火葬、遺骨の保管等を行った。
- ・ 「墓地、埋葬等に関する法律」第9条の規定に基づき、引き取り手のない遺体の取扱いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,417	4,980	4,898		82
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	行旅死亡人遺骨保管謝礼		90	90
12節	行旅死亡人官報公告掲載料		37	0
13節	行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料		530	242
	墓地埋葬法による遺体取扱委託料		1,760	4,566

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

中国残留邦人等支援事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【 事業の内容 】

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない者などに対する生活支援給付金は、該当がなかったため支給しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10
<支出内訳>		当初予算額 支出済額		
20節 生活支援扶助費		10 0		

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

生活困窮者自立支援事業	【	生活福祉課	】
--------------------	---	-------	---

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民

意図 自立の促進を図るため。

効果 相談及び住居確保給付金の支援を受けることにより、自立を目指すことができる。

【 事業の内容 】

- ・生活困窮者の自立の促進を図るため、就労の支援その他の自立に関する問題について、必要な支援を行った。
- ・再就職等のため必要と認められる者に対し、住居確保給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
91,803	86,476	82,803		3,673
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			70	10
光熱水費			78	83
13節 生活困窮者自立相談支援事業委託料			32,053	32,001
学習・生活支援事業委託料			12,990	12,990
家計改善支援事業委託料			16,877	16,877
就労準備支援事業委託料			10,167	10,166
一時生活支援事業委託料			1,802	1,802
14節 食料配布会会場使用料			53	37
19節 生活困窮者等への食料支援負担金			3,471	3,470
20節 住居確保給付金			14,242	5,367
<主な特定財源>				
・国県支出金				54,307

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

ひきこもり対策推進事業

【

生活福祉課

】

※重点事業(事業CD:4-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 ひきこもりの状態にある方やその家族

意図 社会参加や自立の促進を図るため。

効果 ひきこもりの状態にある方やその家族の不安が解消され、社会参加や自立が促進される。

【 事業の内容 】

- ・ ひきこもりの状態にある方やその家族に対し相談支援や居場所の提供を行った。
- ・ ひきこもりに関する講演会等を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,461	1,539	1,288		251
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	ひきこもり支援指導員謝礼		720	698
	講演会等講師謝礼		60	0
9節	ひきこもり支援員出張旅費		149	52
11節	消耗品費		44	35
	印刷製本費		60	41
12節	電信料		108	0
14節	居場所のための建物賃借料		1,320	462
<主な特定財源>				
	・国県支出金			734

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

低所得世帯支援給付金支給事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 住民税非課税世帯等

意図 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯を支援するため。

効果 住民税非課税世帯等に対して、家計への支援を行う。

【 事業の内容 】

- 令和5年度住民税非課税世帯等に対して、低所得世帯支援給付金(3万円)及び低所得世帯支援給付金(7万円)を支給するとともに、低所得世帯支援給付金(7万円)の支給については令和6年度も引き続き事業を行うため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	1,921,116	1,611,800	221,053	88,263
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
3節	超過勤務手当(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	271	
	超過勤務手当(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	241	
9節	普通旅費(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	0	
	普通旅費(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	0	
11節	消耗品費(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	279	
	消耗品費(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	41	
	印刷製本費(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	32	
	印刷製本費(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	0	
12節	郵便料(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	5,155	
	郵便料(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	1,529	
	広告料(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	809	
	広告料(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	405	
	口座振込手数料(低所得世帯支援給付金(3万円))	0	1,685	
	口座振込手数料(低所得世帯支援給付金(7万円))(翌年度への繰越明許費)	0	1,700	
13節	低所得世帯支援給付金(3万円)支給業務委託料	0	52,513	
	低所得世帯支援給付金(7万円)支給業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
19節	低所得世帯支援給付金(3万円)	0	459,900	
	低所得世帯支援給付金(7万円)(翌年度への繰越明許費)	0	1,087,240	

<主な特定財源>

・国県支出金

1,439,073

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

低所得世帯等こども加算・均等割のみ課税世帯支援給付金支給事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 住民税均等割のみ課税世帯・住民税非課税世帯又は住民税均等割のみ課税世帯等で18歳以下の児童のいる世帯

意図 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」(令和5年11月2日閣議決定)の趣旨を踏まえ、価格高騰の影響を受けている低所得世帯等への支援を行うため。

効果 低所得世帯等に対して、家計への支援を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対する支援給付金の支給事業を実施し、令和6年度も引き続き事業を行うため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 令和5年度住民税均等割のみ課税世帯、令和5年度住民税非課税世帯等であって18歳以下の児童のいる世帯に対する支援給付金の支給事業を実施し、令和6年度も引き続き事業を行うため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	400,627	62,202	338,366	59
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
3節	超過勤務手当(翌年度への繰越明許費)	0	0	
9節	普通旅費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
11節	消耗品費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	印刷製本費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
12節	郵便料(翌年度への繰越明許費)	0	66	
	広告料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	口座振込手数料(こども加算)(翌年度への繰越明許費)	0	86	
	口座振込手数料(均等割のみ課税)(翌年度への繰越明許費)	0	0	
13節	低所得世帯等こども加算・均等割のみ課税世帯支援給付金支給業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
19節	支援給付金(こども加算)(翌年度への繰越明許費)	0	62,050	
	支援給付金(均等割のみ課税)(翌年度への繰越明許費)	0	0	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

介護保険事業特別会計繰出金

【

介護保険課

】

【 事業の内容 】

- ・ 介護保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,871,477	2,826,514	2,826,514		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

2,871,477 2,826,514

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

132,613

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

国保組合支援事業

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人当たり70円を補助金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63	63	61		2
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 県建設連合国保組合補助金				45 43
県建設業国保組合補助金				18 18

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

国民健康保険事業特別会計繰出金

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

- ・ 国民健康保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,309,861	1,359,009	1,347,280		11,729

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

1,309,861 1,347,280

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

591,515

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎市民自治 ○市民自治

地域福祉推進事業

【

福祉総務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 市民自治

施策の方針 市民自治

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティーや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 地域福祉団体、地域住民の生活課題に対する取組への支援等を行った。
- ・ 地域住民による地域課題の把握と課題解決への取組を進めるため、地域アセスメント活動を中心とした地域福祉推進活動への支援を行った。
- ・ 地域福祉計画の進行管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,876	3,876	3,744		132

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節 地域福祉計画推進委員会委員報酬 8人

276 144

19節 地域福祉推進活動支援補助金

3,600 3,600

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(援護担当)・高齢者いきいき課・障害福祉課・

保険年金課(年金担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	428,804	432,612
・ 2節 給料 一般職	196,481	195,109
一般職職員 59人		
短時間勤務職員 4人		
・ 3節 職員手当等	160,607	167,929
扶養手当	3,764	4,224
地域手当	30,862	30,907
通勤手当	5,786	6,279
超過勤務手当	19,221	24,129
休日給	147	56
管理職手当	5,496	5,496
特殊勤務手当	189	53
期末勤勉手当	83,478	85,893
住居手当	9,430	9,062
管理職員特別勤務手当	74	0
児童手当	2,160	1,830
・ 4節 共済費	71,716	69,574
市町村職員共済組合負担金	70,055	67,886
社会保険料	1,113	1,156
雇用保険料	548	532

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室

健康福祉部のうち生活福祉課・高齢者いきいき課・障害福祉課・保険年金課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		158,475	131,433
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	113,892	100,511
	会計年度事務補助職員 23人		
	更生雇用職員		
	障害者就業支援員 3人		
	発達支援専門員 14人		
	相談支援専門員 3人		
	かまくらっ子発達支援サポーター 67人		
	ひきこもり支援員 2人		
	精神保健福祉相談・障害者虐待防止 対策支援員 4人		
	障害支援区分認定調査員 5人		
	手話通訳支援員 2人		
	ワークステーション会計年度事務職員 7人		
・ 3節 職員手当等		19,041	16,635
	期末手当		
・ 4節 共済費		12,975	9,784
	市町村職員共済組合負担金	5,116	3,127
	社会保険料	7,047	5,866
	雇用保険料	812	791
・ 9節 旅費		12,567	4,503
	費用弁償		

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 10 社会福祉施設費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

福祉センター管理運営事業

【

福祉総務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【 事業の内容 】

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,710	49,486	46,091		3,395
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			378	259
燃料費			5	0
光熱水費			20,277	10,930
各所維持修繕料			3,448	2,761
12節 電信料			160	155
熱源機器保守点検手数料			952	951
昇降機保守点検手数料			700	700
非常用発電装置保守点検等手数料			1,621	1,609
13節 総合管理業務委託料			32,769	27,437
警備業務委託料			92	92
自動ドア保守点検委託料			196	196
電話設備保守点検委託料			92	92
樹木伐採業務委託料			789	678
受変電設備清掃業務委託料			44	44
敷地内植栽維持管理業務委託料			187	187

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者福祉運営事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者福祉計画等の進行管理及び策定を行った。
- ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・ 在宅の障害者の日中活動の場の確保、障害の特性に応じた作業の場の提供及び地域社会との交流の促進により障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業を実施した。
- ・ 基幹相談支援センター事業や成年後見センター事業を実施した。
- ・ 失語症等成人中途言語障害者への支援や障害者団体等への支援を行った。
- ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給した。
- ・ 障害福祉サービス事業所等に対して、物価高騰による影響の軽減を図るための支援金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
255,931	282,550	271,761		10,789
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	総合支援法審査会委員報酬 15人	3,936	3,474	
	障害者福祉計画推進委員会委員報酬 12人	608	438	
8節	社会福祉施設等物価高騰対応支援金	0	14,490	
	障害者施設訪問歯科検診報償費	903	903	
	障害福祉相談員等報償費	876	240	
9節	障害支援区分認定調査員等費用弁償	240	222	
11節	消耗品費	524	441	
	備品修繕料	9	7	
12節	電信料	73	61	
	自立支援給付医師意見書作成手数料	1,527	1,584	
	給付費等支払システム運営手数料	5,122	5,418	
	成年後見市長申立手数料	148	0	
	障害福祉相談員等保険料	3	2	
13節	障害者福祉計画点字版等作成委託料	521	160	
	障害者相談支援事業運営委託料	12,348	13,583	
	障害者地域活動支援センター運営事業委託料 10ヶ所	185,857	182,802	
	成年後見センター運営業務委託料	5,578	5,578	
	基幹相談支援センター運営委託料	22,914	25,205	

	障害者福祉計画策定調査業務委託料	5,495	0
	自立支援給付等システム再構築委託料	1,526	1,102
	<u>障害福祉システム改修業務委託料</u>	0	2,090
14節	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料	950	950
	生涯学習センター等使用料	235	25
19節	失語症等成人中途言語障害者支援事業等負担金	457	457
	成年後見制度利用支援事業補助金	3,746	3,719
	地域交流等支援事業補助金	1,000	1,000
	鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	147	0
	鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	147	147
	青い麦の会運営費補助金	128	128
	鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	231	231
	鎌倉市腎友会補助金	40	40
	神奈川県障がい者スポーツ協会運営費補助金	30	30
	自発的活動支援事業補助金	300	100
20節	外国籍等障害者福祉給付金	312	312
22節	<u>業務委託契約(過年度分)に係る消費税相当額補償金</u>	0	6,822

<主な特定財源>

・国県支出金	81,726
--------	--------

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者生活支援事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の生活安定及び福祉の向上を図り、必要な生活支援を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当を対象者に給付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,282	140,382	132,554		7,828
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節	施設等通所交通費助成費		38,000	38,513
	特別障害者手当等		43,282	41,375
	福祉手当		57,000	52,666
<主な特定財源>				
	・国県支出金			31,144

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者福祉サービス事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に必要な障害福祉サービスを提供し、日常生活及び社会生活を総合的に支援し、安心して生活を送ることができるようにするため。

効果 障害者等の日常生活の利便性の向上と、安心して社会生活を送ることができる体制の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者が障害福祉サービスを利用した場合に介護給付費等の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い、日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ 自宅の浴槽での入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ グループホーム入居者へ家賃の助成を行った。
- ・ 障害者グループホームを開設及び運営する事業者が行うバリアフリー化等の改修工事等の費用に対し、補助を行った。
- ・ 障害者総合支援法の補装具給付費支給対象外の軽・中等度の難聴の児童に対し、補聴器購入費の一部の助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,318,061	4,415,240	4,245,699		169,541
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 特別障害者手当認定審査嘱託医報酬 2人		319	318	
12節 更生医療審査等手数料		115	120	
13節 身体障害者訪問入浴サービス事業委託料		6,149	5,893	
虐待防止緊急一時保護等事業委託料		2,337	565	
19節 重度重複障害者個別支援事業補助金		7,545	7,326	
医療的ケア支援事業補助金		1,633	1,474	
グループホーム運営事業補助金(常勤支援員配置促進費)		6,504	6,143	
グループホーム運営事業補助金(グループホーム重度障害者支援事業)		1,094	1,094	
グループホーム運営事業補助金(設置費)		7,000	1,000	
グループホーム家賃助成補助金		14,100	14,398	
短期入所拠点事業所配置事業補助金		1,706	1,723	
重度障害者住宅設備改造費補助金		7,000	867	
軽・中等度難聴児補聴器購入費助成補助金		677	332	
20節 障害福祉サービス等給付費		3,134,904	3,139,622	
相談支援等給付費		72,836	60,284	
自立支援医療等給付費		90,251	104,653	
補装具給付費		47,324	29,971	

高額障害福祉サービス等給付費	3,647	3,778
障害児通所等給付費	639,934	694,819
障害児相談支援給付費	23,590	18,537
移動支援等給付費	192,200	102,181
日常生活用具給付費	40,761	37,331
障害福祉サービス利用助成費	304	0
身体障害短期入所法外扶助費	892	976
単独型短期入所促進事業給付費	5,773	4,218
グループホーム法外扶助費	608	608
グループホーム運営費補助事業給付費	7,958	6,568
市外地域活動支援センター利用扶助費	900	900

<主な特定財源>

・国県支出金	3,184,276
--------	-----------

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者社会参加促進事業

【

障害福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・市のパンフレットの点字版を作成するなどして、視覚障害者、聴覚障害者等の情報取得手段の確保を図った。
- ・手話通訳者を週5日窓口配置した。
- ・手話講習会(入門、基礎、応用講座等)を開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。
- ・市民団体との協働事業として、障害者等が社会参加の機会を得るためのイベントを開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,577	40,910	32,104		8,806
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	手話通訳者等派遣報償費		2,676	1,113
	手話通訳者設置等報償費		185	121
9節	手話通訳支援員費用弁償		37	1
11節	消耗品費		125	110
	福祉タクシー券等印刷製本費		286	285
	緊急通報装置等維持修繕料		100	0
12節	福祉タクシー券等事務手数料		932	759
	手話通訳者等保険料		15	8
13節	手話講習会開催等委託料		1,873	1,872
	手話通訳者派遣業務委託料		198	163
	情報保障に係る点字版等作成委託料		900	21
19節	全国手話言語市区長会負担金		10	10
	障害児者福祉イベント開催負担金		500	500
20節	身体障害者自動車改造費助成費		400	324
	福祉タクシー利用料金等助成費		32,340	26,817
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,328

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者医療助成事業

【

障害福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(所得制限あり・65歳以上新規障害除外)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
608,641	608,641	557,157		51,484
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			104	91
受診証等印刷製本費			37	37
12節 審査支払手数料			8,500	7,841
20節 医療扶助費			600,000	549,188
<主な特定財源>				
・国県支出金				98,442

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者雇用対策事業

【 障害福祉課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の雇用を促進し、多様な就労の場等を確保することで、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場等が確保される。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者雇用二千人を目指し、ハローワークとの連携や障害者二千人雇用センターを運営するとともに、障害者就職面接会等を行った。
- ・ 庁内から依頼された事務作業を行うワークステーションを運営した。
- ・ 新たに開設した就労支援事業所を支援し、障害者の多様な就労の場を確保した。
- ・ 障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・ 訓練等給付事業を実施する団体に対し、家賃助成を行った。
- ・ 障害者等の就労に困難を抱える方の働く場の確保として、在宅勤務を含む就労について支援を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
87,900	87,900	79,940		7,960
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	障害者雇用奨励金	12,060	5,340	
	障害者就労移行支援金	1,800	2,000	
	障害者二千人雇用推進協議会等報償費	404	154	
	雇用対策事業報償費	602	110	
11節	消耗品費	260	101	
	印刷製本費	200	0	
13節	障害者二千人雇用センター運営委託料	29,046	29,046	
	障害者就労啓発チラシ作成委託料	150	51	
	障害者農業就労体験セミナー実施委託料	1,778	1,538	
	就労困難者特化型BPO事業委託料	30,000	30,000	
19節	障害者訓練等給付事業所家賃費助成補助金	9,600	9,600	
	障害者就労支援事業所開設補助金	2,000	2,000	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

発達支援事業

発達支援室

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童等

意図 ライフステージに応じて、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【 事業の内容 】

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,645	16,645	15,607		1,038
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 嘱託医報酬				
小児神経科医師 1人		791	791	
リハビリテーション医師 1人		1,582	1,516	
発達支援委員会委員報酬 6人		248	176	
8節 発達支援システム推進協議会委員謝礼等		303	163	
9節 会計年度任用職員等費用弁償		177	6	
11節 消耗品費		605	542	
燃料費		123	53	
車両修繕料		193	91	
医薬材料費		3	0	
12節 電信料		200	166	
ピアノ調律等手数料		18	18	
普通傷害保険料		496	495	
14節 オーディオメタリース等賃借料		47	40	
18節 知能検査コンプリートセット購入費		150	150	
オーディオメータ購入費		1,637	1,699	
19節 特別支援保育運営費補助金		10,067	9,696	
27節 自動車重量税		5	5	
<主な特定財源>				
・国県支出金				5,079

発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (5歳児すこやか相談)	対象園	49園
	実施児童数	1,073人
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	175人
	言語聴覚相談	139人
	リハビリ相談	70人
発達支援指導	発達指導	57人(延396人)
	言語聴覚指導	134人(延1,115人)
	リハビリ指導	51人(延494人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	68回(延167人)
	言語聴覚相談	55回(延102人)
	リハビリ相談	21回(延38人)
母子グループ指導		44人(延269人)
障害児相談支援事業	障害児支援利用援助	272人(延331人)
	継続障害児支援利用援助	46人(延46人)

公有財産の貸付

(障害児活動支援センター:深沢こどもセンター内)

(障害児通所支援施設:由比ガ浜こどもセンター内)

事業名	実施状況	
障害児活動支援センター (放課後等デイサービス)	開所日数	243日
	契約者数	62人
	延利用者数	2,087人
障害児活動支援センター (余暇支援)	開所日数	243日
	契約者数	3人
	延利用者数	48人
障害児通所支援施設 (児童発達支援)	開所日数	254日
	契約者数	39人
	延利用者数	1,841人
障害児通所支援施設 (放課後等デイサービス)	開所日数	293日
	契約者数	54人
	延利用者数	2,554人
障害児通所支援施設 (障害児相談支援)	契約者数	21人
	延計画作成者数	70人

特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	9 園	40人

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

発達支援サポートシステム推進事業

【

発達支援室

】

※重点事業(事業CD:4-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に課題を持つ子どもの保護者及び支援者等

意図 発達に課題を持つ子どもが適切な支援を受けることができるよう、発達障害などの理解及び対応のスキルアップを図るため。

効果 療育と教育の連携を強化し、地域における幼児期から学齢期までライフステージに応じた継続した支援を行うことで鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの主要施策「障害のある子どもと家庭への支援」の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・発達支援に関する情報共有と支援技術の向上を目指すサポーター養成講座を体系的に開催した。
- ・発達支援委員会等と連携し、保育現場や学校現場における講座受講者の人材活用を推進するとともに、地域での子育て支援の充実を図るため、サポーターの処遇を改善した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
826	826	737		89
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	サポーター養成講座講師謝礼		540	540
	派遣サポーター事後フォロー講座講師謝礼		60	60
9節	サポーター費用弁償		200	130
11節	サポーター養成講座用消耗品費		26	7

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

地域における障害児支援体制整備事業

発達支援室

※重点事業(事業CD:4-2-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に課題を持つ子どもの保護者及び支援者等

意図 支援を必要とする子どもとその家族が生活する地域で、適切な支援を受け、安心して生活することができるよう、地域支援体制の整備を行うとともに、保護者支援体制の強化を図り、家族全体を支援する体制を整える。

効果 地域と関係団体等との連携を進め、地域全体で子育て家庭への支援が行われるような体制を整備することで、鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの主要施策「障害のある子どもとその家庭への支援」の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 支援を必要とする子どもが所属する集団で必要なサポートが受けられるよう、幼稚園・保育園等において発達支援の中核となる職員を「発達支援コーディネーター」として養成した。
- ・ 地域で相談が受けられるよう、出張相談を実施した。
- ・ 保護者が子どもの特性を正しく理解し、適切な関わりができるよう、家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)を実施するとともに、保護者同士でサポートしあえる仕組みづくりを進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
266	266	175		91
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	コーディネーター養成研修等外部講師謝礼		150	150
9節	出張相談等費用弁償		66	0
11節	消耗品費		26	25
14節	コーディネーター養成講座等施設使用料		24	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 20 障害者施設費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者施設管理運営事業

【 障害福祉課・発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 知的障害者、障害児等

意図 知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。
 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。
 障害児通所支援事業等を行う施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【 事業の内容 】

- ・御成在宅福祉サービスセンターの施設の維持管理に必要な修繕は、特段の不具合が発生しなかったため、行わなかった。
- ・鎌倉はまなみ民営化に伴う整備に必要な委託を行った。
- ・障害児通所支援事業等を行う施設の光熱水費を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,596	3,596	1,659		1,937
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	障害児通所支援事業等施設光熱水費		2,096	986
	御成在宅福祉サービスセンター修繕費		100	0
13節	鎌倉はまなみ整備事業委託料		500	44
	鎌倉はまなみ整備事業委託料(測量業務)		900	629

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者福祉運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市高齢者保健福祉計画の進行管理及び次期計画の策定を行った。
- ・福祉有償運送事業に関する事務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
533	533	448		85
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会委員報酬	12人		528	448
11節 消耗品費			5	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課・介護保険課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 養護老人ホーム等の入所判定は、該当者がいなかったため行わなかった。
- ・ 特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・ 養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,879	63,879	59,985		3,894
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市高齢者措置判定委員会委員報酬			104	0
14節 特別養護老人ホーム(鎌倉プライエムきしろ)土地賃借料			2,093	2,093
20節 施設入所者措置費 25人			69,682	57,892

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者在宅福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者に対し、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 救急情報シート及びエンディングノートの配布を行った。
- ・ 一人暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸出しを行った。
- ・ 寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・ 成年後見制度に関する相談、普及啓発、市民後見人活動支援等を行った。
- ・ 低所得の高齢者に対する成年後見申立に係る費用の一部助成は、該当者がいなかったため行わなかった。
- ・ エンディングプランサポート事業の利用者に対する費用助成は、対象となる事由が発生しなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,393	20,393	18,576		1,817
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節 終活セミナー講師謝礼		50	30	
11節 消耗品費		5	5	
印刷製本費		196	196	
12節 成年後見市長申立手数料		297	75	
13節 緊急通報システム事業委託料		13,704	12,620	
訪問理美容サービス事業委託料		70	72	
鎌倉市成年後見センター運營業務委託料		5,578	5,578	
19節 成年後見制度利用支援補助金		50	0	
エンディングプランサポート事業補助金		443	0	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,190

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課・介護保険課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【 事業の内容 】

- ・物価の高騰により、運営経費が増大している介護保険サービス事業所に対して、物価高騰分を支援金として支給することで経営悪化を防ぎ、介護サービスの提供に対する影響の軽減を図るとともに、高齢者福祉の向上に資することを目的として支援した。
- ・養成講座を受講したサポーターが高齢者を定期的・継続的に支援した。また、サポーターの養成及び利用希望者とのマッチングを行った。
- ・社会福祉法人の運営する施設等を利用する生活困難者について、負担額を軽減した社会福祉法人はあったが、補助対象となる社会福祉法人はなかったため、補助を行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,585	96,282	85,396		10,886
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	高齢者施設等物価高騰対応支援金		0	80,836
13節	高齢者生活支援サポートセンター事業委託料		4,560	4,560
19節	社会福祉法人利用者負担額軽減制度事業補助金		25	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				35,436

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者施設整備事業

【 介護保険課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 高齢者施設等の利用者等の安全・安心を確保するため、ブロック塀等の改修等に係る補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,843	1,110	981		129

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金 1,843 981

<主な特定財源>

・国県支出金

654

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者活動運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者の社会参加や生きがいを支援し、福祉の向上を図るため。

効果 高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

【 事業の内容 】

- ・長寿のお祝いとして100歳以上及び節目の年齢を迎えた高齢者に対し、祝品を贈った。
- ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいを支援した。
- ・福寿優待サービス事業の協力店舗等を掲載したマップを作成し、高齢者の外出を促進した。
- ・運転免許証を自主返納した高齢者又は失効した高齢者に対し、交通費の一部を負担した。
- ・社会福祉法人と協力し、施設の送迎バスを活用した高齢者の外出支援を行った。
- ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。
- ・公的年金給付の要件を制度上満たせない外国籍の高齢者への給付金は、対象者がいなかったため支給しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,567	21,900	20,732		1,168
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 敬老祝品			1,946	1,278
施設訪問用花束			39	39
11節 消耗品費			50	46
印刷製本費			425	338
13節 高齢者入浴助成事業委託料			9,460	9,460
デイ銭湯事業委託料			3,023	3,023
いきいきサークル事業委託料			130	130
高齢者外出支援マップ作成委託料			1,500	1,460
19節 高齢者運転免許証自主返納者等支援事業負担金			1,600	1,176
デイ銭湯事業実施負担金			500	437
地域貢献バスモデル事業負担金			300	34
老人クラブ運営費補助金 53クラブ			2,478	2,315
老人クラブ連合会補助金			996	996
20節 外国籍高齢者福祉給付金			120	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				1,244

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

シルバー人材センター支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,619	33,619	33,087		532
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 神奈川県シルバー人材センター連合会負担金			60	60
シルバー人材センター運営費補助金			25,559	25,559
シルバー人材センター小破修繕補助金			1,000	468
21節 シルバー人材センター運転資金貸付金			7,000	7,000

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

後期高齢者医療事業特別会計繰出金

【

保険年金課

】

【 事業の内容 】

- ・ 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,495,897	2,409,909	2,409,909		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

2,495,897 2,409,909

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

302,128

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

在宅福祉サービスセンター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂在宅福祉サービスセンター及び台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
125,471	115,636	105,526		10,110
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	維持管理用消耗品費	143	142	
	非常用予備発電装置燃料費	9	0	
	光熱水費	25,538	15,555	
	台在宅福祉サービスセンター外壁等改修修繕料	71,940	70,501	
	各所維持修繕料	9,500	3,701	
	備品修繕料	58	33	
12節	電信料	338	234	
	冷温水発生機保守点検手数料	1,129	1,129	
	昇降機保守点検手数料	1,016	1,016	
	清掃業務手数料	2,013	1,494	
	建築設備点検等手数料	1,842	1,695	
13節	自動ドア保守点検業務委託料	152	152	
	グリストラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料	104	104	
	厨房送風機保守点検業務委託料	84	84	
	総合管理業務委託料	11,067	9,149	
	警備業務委託料	223	223	
	樹木伐採業務委託料	162	162	
	ねずみ等防除業務委託料	116	115	
	受変電設備清掃業務委託料	37	37	
<主な特定財源>				
	・ 地方債			55,600

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

老人福祉センター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び腰越なごやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・ 各センターの施設修繕を行った。前年度からの繰越明許費により、今泉さわやかセンターのエレベーター修繕を行った。
- ・ 物価高騰による経費負担が増大した老人福祉センターの指定管理者を支援するため、光熱費及び燃料費の価格高騰分に対する補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
196,248	217,561	208,059		9,502
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		520	62	
老人福祉センター維持修繕料		15,565	11,703	
今泉さわやかセンターエレベーター修繕料(前年度からの繰越明許費)		0	14,414	
13節 老人福祉センター指定管理料		179,602	179,602	
腰越なごやかセンター樹木剪定委託料		495	446	
老人福祉センター備品廃棄処分委託料		66	42	
19節 老人福祉センター光熱費及び燃料費の価格高騰に係る補助金		0	1,790	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,790

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 35 国民年金事務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

国民年金事務

【

保険年金課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 国民年金に関する資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請等の受理・審査、及び外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談等を行った。
- ・ 特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査等は、申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
133	133	128		5
<支出内訳>				
11節 国民年金事務用消耗品費				当初予算額 支出済額 133 128
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				128

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

児童福祉運営事業

【 こども支援課・保育課他 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市子ども・子育て会議を運営した。
- ・ 鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン～かまくらっ子をみんなで育てよう！～の推進を行うとともに、プランの改定へ向けたニーズ量調査を実施した。
- ・ 子ども・子育て支援新制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システムの運用を行った。
- ・ 子どもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」を運営した。
- ・ 寄附金をこどもの夢応援基金に積み立て、取崩しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,422	62,698	59,519		3,179
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 児童福祉審議会委員報酬			104	0
鎌倉市子ども・子育て会議委員報酬 13人			384	234
8節 卒園児記念品等			569	480
9節 子ども・子育て会議委員等費用弁償			11	0
保健衛生嘱託員等費用弁償			336	256
11節 消耗品費			103	78
備品修繕料			1	0
12節 全国市長会認可保育所・認定こども園園児賠償責任保険料			293	293
13節 子ども・子育て支援システム保守業務委託料			3,927	3,927
子ども・子育て支援事業ニーズの現状把握に資する調査及び計画策定等業務委託料			6,475	6,472
14節 子ども・子育て支援システムサーバ機器等賃借料			3,095	3,094
19節 鎌倉市保育会補助金			14	14
25節 こどもの夢応援基金利子積立金			10	86
こどもの夢応援基金寄附等積立金(ふるさと納税寄附分)			30,100	44,585

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

子育て支援事業

こども支援課・こども家庭相談課(旧
こども相談課)他

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【 事業の内容 】

- ・子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。
- ・多様化する子育てやこどもの悩みに対応するため、第6分庁舎に「かまくらこども相談窓口 きらきら」を開設し、運営した。
- ・「かまくら冒険遊び場・梶原」を協働事業者と運営するとともに、子育て支援団体等の情報発信及び情報提供を行った。
- ・ファミリーサポートセンター又は子育て支援事業者の育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てをしている家庭などに、利用料の一部を助成した。
- ・保育の必要性の認定をうけた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認をうけた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。
- ・妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する事業を行った。
- ・経済的支援である、出産・子育て応援事業補助金については、前年度からの繰越明許費を含め事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
126,896	190,788	139,680		51,108
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	会計年度任用職員報酬 1人		1,664	867
3節	超過勤務手当		2,160	78
	会計年度任用職員期末手当		333	107
8節	保育コンシェルジュ等謝礼		3,801	3,224
	冒険遊び場協働運営事業推進検討委員会委員等謝礼		72	32
9節	会計年度任用職員費用弁償		108	58
11節	消耗品費		1,018	556
	光熱水費		744	374
	冒険遊び場維持修繕料		800	627
12節	郵便料		385	0
	電信料		200	165
	手数料		52	51
	保育コンシェルジュ等賠償責任・傷害保険料		173	168
13節	冒険遊び場機械警備等委託料		77	76
	かまくらこども相談窓口きらきら施設紹介動画制作業務委託料		0	51
	冒険遊び場危険樹木緊急伐採業務委託料		0	99
	出産・子育て応援事業データパンチ業務委託料		310	0

	<u>出産・子育て応援事業に係る福祉総合システム改修委託料</u>	0	0
	<u>(前年度からの繰越明許費)</u>		
19節	冒険遊び場負担金	7,257	7,340
	子育て支援行事等補助金	204	0
	在宅子育て家庭支援事業利用料補助金	1,992	1,874
	出産・子育て応援事業補助金	105,000	75,850
	<u>出産・子育て応援事業補助金(前年度からの繰越明許費)</u>	0	47,750
20節	幼児教育無償化扶助費(ファミリーサポートセンター)	546	322
22節	<u>ニフティ光回線解除手数料</u>	0	11
<主な特定財源>			
	・国県支出金		114,918

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

地域子育て支援拠点事業

【 こども支援課・こども家庭相談課
(旧:こども相談課) 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【 事業の内容 】

- ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業を指定管理等によって行った。
- ・令和6年度、(仮称)腰越子育て支援センターの開設に向けた準備を民間活力を利用して進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,965	50,965	49,447		1,518
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	光熱水費		1,411	696
	子育て支援センター維持修繕料		1,294	494
13節	鎌倉・深沢子育て支援センター指定管理料		15,183	15,183
	大船子育て支援センター指定管理料		7,314	7,314
	玉縄子育て支援センター指定管理料		7,050	7,050
	つどいの広場事業実施委託料		2,433	2,432
19節	(仮称)腰越子育て支援センター建設費等補助金		12,280	12,280
	(仮称)腰越子育て支援センター開設準備費補助金		4,000	3,998
<主な特定財源>				
	・国県支出金			32,964

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ファミリー・サポート・センター事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 育児等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,033	13,033	12,820		213
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		47	22	
光熱水費		186	84	
12節 電信料		321	236	
ファミリーサポートセンター補償保険料		167	166	
13節 ファミリーサポートセンター運営委託料		12,312	12,312	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				8,617

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

養育支援訪問等事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 児童等

意図 児童虐待防止の周知啓発及び要保護児童等への支援を行うため。

効果 児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し、支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達することができる。

【事業の内容】

- ・養育面で支援が必要な児童等がいる家庭に対する見守りを強化するため、配食サービスの提供により児童・家庭の見守りを行う支援対象児童等見守り強化事業を実施した。
- ・児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護を行った。
- ・養育者が児童に不適切な養育を行い、児童虐待のリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭に日常生活支援を行った。
- ・児童家庭相談システムの導入は、住基との連携のみではなく、こども家庭庁が実施した母子保健事業等福祉分野とのデータ連携に係る実証実験の結果を注視する中で、システム全体の在り方の再検討の必要性が生じたことから、予算の執行を見送った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,139	6,819	5,359		1,460
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	ママのトークタイムわかば等謝礼	332	226	
9節	こどもと家庭の相談室相談員研修会等費用弁償	74	46	
11節	消耗品費	228	108	
12節	養育支援訪問事業等補償保険料	49	48	
13節	養育支援訪問事業委託料	446	310	
	子育て短期支援事業委託料	12	242	
	短期入所生活援助事業委託料	483	577	
	支援対象児童見守り強化事業委託料	4,610	3,630	
	児童家庭相談システム住基情報連携対応業務委託料	2,513	0	
	児童家庭相談システム保守等業務委託料	319	0	
14節	生涯学習センター使用料	42	0	
	児童家庭相談システム機器賃借料	834	0	
19節	BPファシリテーター養成講座等負担金	197	172	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,754

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

小児医療助成事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 0歳～18歳の入・通院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

- ・養育者の所得制限を設けず、0歳から中学3年生までを対象とし、入院、通院に係る、食事療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。
- ・令和5年10月から対象年齢を18歳まで拡大した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
772,090	816,667	763,894		52,773
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	医療助成事務用消耗品費		451	205
	医療証等印刷製本費		81	99
12節	郵便料		1,335	0
	審査支払等手数料		24,543	21,445
13節	年齢拡充等に伴う福祉総合システム改修業務等委託料		4,840	6,474
20節	医療扶助費		740,840	735,671
<主な特定財源>				
	・国県支出金			104,648

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

未熟児養育医療事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した乳児(0歳児)

意図 諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を負担することにより、保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 未熟児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

- ・出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生し、指定医療機関へ入院して養育を行う必要のある乳児(0歳児)に対して、諸機能を得るまでの必要な入院医療にかかる費用を負担した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,107	8,107	4,101		4,006
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 未熟児養育医療事務用消耗品費			16	0
12節 審査支払手数料			5	2
20節 医療扶助費			8,086	4,099
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,540

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費
 ◎子育て ○子育て家庭への支援

放課後子ども総合プラン等管理運営事業

【 青少年課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する小学生及び乳幼児等

意図 全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。

効果 地域等の協力を得ながら豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。待機児童の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・全ての児童を対象とした放課後かまくらっ子事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
612,658	578,358	575,399		2,959
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 障害児対応等研修謝礼			140	110
9節 支援員等費用弁償			74	71
11節 消耗品費			6,621	3,704
燃料費			24	18
印刷製本費			31	31
光熱水費			1,030	408
旧おなり子どもの家原状復旧修繕料			23,797	23,331
子どもの家等各所修繕料			8,000	6,535
おおふな子どもの家造作家具取替修繕料			0	1,047
だいいち子どもの家2階3室用エアコン室外機修繕料			0	666
備品修繕料			1	0
医薬材料費			10	0
12節 電信料			166	189
消防設備等保守点検手数料			39	39
利用児童等保険料			218	216
13節 子どもの家使用料徴収システム保守業務委託料			165	165
おさか子どもの家樹木伐採業務委託料			396	396
機械警備業務委託料(深沢子ども会館)			171	171
放課後かまくらっ子指定管理料(こしごえ・にしかまくら・やまさき・いまいずみ)			125,343	112,268
放課後かまくらっ子指定管理料(ふかさわ・せきや)			71,213	66,822
放課後かまくらっ子指定管理料(だいいち・おなり・しちりがはま・ふじづか・おおふな・うえき)			171,326	171,326
放課後かまくらっ子指定管理料(おさか)			28,433	26,689
放課後かまくらっ子指定管理料(たまなわ)			35,507	32,979
放課後かまくらっ子指定管理料(にかいどう・いなむらがさき)			59,948	59,948
14節 ふかさわ子どもの家等賃借料			5,033	5,033
せきや子どもの家等賃借料			14,357	14,357

	たまなわ子どもの家等賃借料	27,522	27,522
	ふかさわ子どもの家再リース料	9,900	0
	せきや子どもの家再リース料	2,640	0
	子どもの家AED賃貸借料	935	618
	子ども会館タブレット端末等使用料	51	49
	だいいち子どもの家 冷風機賃貸借契約	0	721
19節	放課後児童健全育成事業運営費等補助金	19,565	19,967
22節	光回線契約解除に伴う違約金	0	3
22節	子どもの家等賠償金	1	0
23節	子どもの家利用料還付金	1	0

<主な特定財源>

・国県支出金	137,248
--------	---------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎青少年育成 ○青少年の育成・支援

放課後かまくらっ子推進事業

【

青少年課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 青少年育成

施策の方針 青少年の育成・支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する小学生及び中高生、大学生等

意図 放課後かまくらっ子事業を充実させるため。

効果 放課後かまくらっ子に青少年が参画することで、地域の中でキャリア教育等の機会を充実させる。

【 事業の内容 】

- ・ 青少年が放課後かまくらっ子事業に参画できる仕組みを提供した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,912	1,912	1,772		140
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	放課後かまくらっ子推進参与報酬 1人		1,350	1,300
8節	放課後かまくらっ子推進部会等謝礼		420	342
11節	印刷製本費		52	51
14節	放課後かまくらっ子シンポジウム会場等使用料		90	79

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

こどもみらい部(青少年課鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館・発達支援室発達相談担当を除く)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,063,186	1,003,888
・ 2節 給料 一般職	492,199	469,140
一般職職員 131人		
短時間勤務職員 13人		
・ 3節 職員手当等	396,601	373,842
扶養手当	12,475	11,113
地域手当	76,813	73,294
通勤手当	12,216	12,410
超過勤務手当	49,527	43,584
休日給	179	715
管理職手当	7,366	7,366
特殊勤務手当	987	743
期末勤勉手当	210,998	203,418
住居手当	19,182	15,014
管理職員特別勤務手当	98	0
児童手当	6,760	6,185
・ 4節 共済費	174,386	160,906
市町村職員共済組合負担金	170,845	156,759
社会保険料	2,983	3,591
雇用保険料	558	556

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 こどもみらい部

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		405,050	326,179
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	290,405	246,054
	会計年度事務補助職員 16人		
	保育デイスタッフ 62人		
	調理スタッフ 12人		
	保育任用職員 28人		
	保育所保健衛生任用職員 5人		
	保育所栄養任用職員 2人		
	保育タイムスタッフ 61人		
	ひとり親家庭自立支援員 2人		
	こどもと家庭の相談室相談員 5人		
	放課後かまくらっ子統括支援員 2人		
	放課後かまくらっ子支援員 5人		
	放課後かまくらっ子補助員 0人		
	放課後かまくらっ子推進事務員 3人		
	放課後かまくらっ子巡回相談員 2人		
	施設巡回等職員 0人		
・ 3節 職員手当等		48,903	42,374
	期末手当		
・ 4節 共済費		46,502	30,288
	市町村職員共済組合負担金	18,037	9,338
	社会保険料	24,976	17,578
	雇用保険料	3,489	3,372
・ 9節 旅費		19,240	7,463
	費用弁償		

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

特定教育・保育施設支援事業

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う就学前児童

意図 市内在住の児童が通う特定教育・保育施設に対し給付を行い、施設経営の健全化を図るとともに、就学前児童の教育及び保育を行うため。

効果 特定教育・保育施設に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等を支給する。また、幼児教育無償化を実施するとともに、第2子保育料の無償化を継続し、多子世帯の負担軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,028,693	4,293,513	4,286,438		7,075
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
20節 施設型給付費(1号認定児 地方単独費用部分)			208,456	217,389
施設型給付費(2、3号認定児 私立保育所委託費)			2,616,216	2,721,111
施設型給付費(1号認定児全国統一費用部分及び2、3号認定児認定こども園分)			1,157,159	1,246,366
施設型給付費(市外施設入所児童分)			43,618	92,619
法外扶助費(市外施設入所児童分)			3,244	8,953

施設種別		延人数	1号認定児 (地方単独 費用部分)	1号認定児 (全国統一 費用部分)	2号認定児 3号認定児	法外扶助費	合計
(単位)		(人)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
市内	幼稚園(※)	8,861	162,579,045	471,661,904			634,240,949
	認可保育所	27,845			2,721,111,460		2,721,111,460
	認定こども園	9,461	54,809,856	159,090,963	615,613,196		829,514,015
	小計	46,167	217,388,901	630,752,867	3,336,724,656	0	4,184,866,424
市外	市外施設 入所児童分	873	92,618,775			8,953,219	101,571,994

※子ども・子育て支援法第31条の規定に基づき市が確認した幼稚園

<主な特定財源>

・国県支出金

2,673,114

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

特定地域型保育支援事業

保育課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた家庭的保育事業者、小規模保育事業者等(地域型保育事業者)を利用する就学前児童

意図 市内在住の児童が利用している地域型保育事業者に対し給付を行い、事業運営の健全化を図るとともに、就学前児童の保育を行うため。

効果 地域型保育事業者を利用する児童の処遇向上及び事業運営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 特定地域型保育事業者に対し、地域型保育給付費等を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
266,627	242,640	237,347		5,293

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
20節 地域型保育給付費(小規模保育事業・事業所内保育事業)	216,403	214,171
地域型保育給付費(家庭的保育事業)	50,224	23,176

施設種別	延人数	3号認定児	法外扶助費	合計
(単位)	(人)	(円)	(円)	(円)
市内	小規模保育事業	859	187,097,680	187,097,680
	事業所内保育事業	46	21,630,210	21,630,210
	家庭的保育事業	56	23,176,450	23,176,450
	小計	961	231,904,340	231,904,340
市外	市外施設入所児童分	33	5,442,960	5,442,960

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

182,251

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

特別保育事業

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う児童等

意図 特定教育・保育施設に通う児童等に係る通常保育以外の保育を行うため。

効果 子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 公立保育園において、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施した。
- ・ 病中または病後の児童で、保育が必要な児童に対して保育を行う病児・病後児保育を実施した。
- ・ 私立保育所等が、認定された保育時間を超えて在籍児童の保育を行う、延長保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 幼稚園または認定こども園が、通常の教育時間を超えて在籍児童の保育を行う、預かり保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等が、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 生活保護世帯の負担を軽減するために、保護者が施設に支払うべき実費徴収額の一部を減免をした施設に対する補助については、対象者がいなかったため実施しなかった。
- ・ 保育の必要性の認定を受けた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認を受けた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
205,012	171,034	136,003		35,031
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			1,200	0
13節 保育士派遣業務委託料			9,378	4,699
病児・病後児保育委託料			49,228	49,228
19節 延長保育事業等補助金			42,845	16,521
幼稚園型預かり保育補助金			26,713	22,521
一時預かり事業補助金			26,613	23,114
延長保育事業(新型コロナ対応)補助金			6,650	0
一時預かり事業(新型コロナ対応)補助金			6,900	0
実費徴収補足給付事業補助金			17	0
病児保育事業補助金(体調不良児対応型)			8,126	8,126
20節 幼児教育無償化扶助費			27,342	11,794
(預かり保育・一時預かり・病児・病後児)				
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				96,014

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

私立保育所等助成事業

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が通う私立保育所等に対し補助を行い、施設経営の健全化を図るとともに、両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所等に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 私立保育所等に対する支援として、民間保育所特別経常費補助金及び保育緊急対策事業費補助金を交付した。
- ・ 障害児の保育に対する障害児保育推進特別対策事業費補助金を交付した。
- ・ 職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所等運営改善費補助金を交付した。
- ・ 届出保育施設に入所している児童の保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等の事業者が保育士用の宿舍を借り上げる費用の一部及び小規模保育施設との連携に要する費用の一部等に対して補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等に対して、職員のキャリアアップに資する研修に参加する際の代替保育士の雇用経費の一部に対する補助金を交付した。
- ・ 保育の必要性の認定をうけた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認をうけた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。
- ・ 物価高騰の影響を受ける私立保育所等に対して、給食提供に係る食材費等や光熱費に対する補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
668,888	665,584	613,348		52,236
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 民間保育所特別経常費補助金			11,152	11,152
保育緊急対策事業費補助金			25,560	17,032
障害児保育推進特別対策事業費補助金			49,080	51,511
民間保育所等運営改善費補助金			403,200	378,902
届出保育施設運営改善費補助金			1,314	767
保育対策総合支援事業補助金(保育士宿舍借上補助等)			135,363	91,664
保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金			5,479	1,222
保育所等給食費・光熱費補助金			0	35,899
送迎用バス安全装置設置事業補助金			0	700
保育所等紙おむつ処分事業補助金			0	1,294
20節 幼児教育無償化扶助費(認可外)			37,740	23,205
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				132,765

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

児童手当支給事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 児童を養育している者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育している者に手当を支給した。
- ・支給額 0歳から3歳未満の児童及び3歳以上小学校修了前の第3子以降の児童は、15,000円(月額)。3歳以上小学校修了前の第1、2子の児童及び中学生は、10,000円(月額)。なお、所得制限限度額以上所得上限限度額以下である場合は、年齢によらず一律5,000円(月額)。
- ・児童手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,983,411	1,844,411	1,785,325		59,086
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
13節 児童手当システム運用支援業務委託料		2,998	2,997	
14節 児童手当システム機器賃借料		4,673	4,673	
20節 児童手当・特例給付		1,975,740	1,777,655	
・児童手当				
0歳から3歳未満(被用者)	月額15,000円	1,620人分	12ヶ月	
0歳から3歳未満(非被用者)	月額15,000円	256人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額10,000円	4,417人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額15,000円	1,032人分	12ヶ月	
中学生	月額10,000円	2,465人分	12ヶ月	
・特例給付				
0歳から3歳未満(被用者)	月額5,000円	245人分	12ヶ月	
0歳から3歳未満(非被用者)	月額5,000円	18人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額5,000円	1,085人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額5,000円	34人分	12ヶ月	
中学生	月額5,000円	579人分	12ヶ月	
・児童手当(施設入所)				
0歳から3歳未満	月額15,000円	0人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前	月額10,000円	10人分	12ヶ月	
中学生	月額10,000円	7人分	12ヶ月	

・児童手当過年度分

3歳未満

月額15,000円

11人分

24ヶ月

3歳以上中学生以下

月額10,000円

63人分

24ヶ月

<主な特定財源>

・国県支出金

1,504,274

◎子育て ○子育て家庭への支援

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

施策の方針 子育て家庭への支援

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,327	9,327	5,156		4,171
<支出内訳>				
20節 助産施設入所費			当初予算額	支出済額
			550	721
母子生活支援施設入所費			11,777	4,435
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,193

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費
 ◎子育て ○子育て環境の整備

私立保育所等整備事業

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 子育て
 施策の方針 子育て環境の整備

【 事業の目的 】

対象 私立保育所等を運営する法人

意図 市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い、待機児童の解消等を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・玉縄地域の待機児童対策として、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地を賃借した。
- ・鎌倉地域の待機児童対策として、旧横浜地方法務局鎌倉出張所庁舎及び跡地を賃借した。
- ・保育所の建替等に係る施設整備費に対して補助金を交付した。
- ・御成町在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、御成町在宅福祉サービスセンターの外壁等改修修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
345,013	370,113	368,572		1,541
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	15	12	
	光熱水費	5,968	3,198	
	御成町在宅福祉サービスセンター等維持修繕料	1,500	821	
	在宅福祉サービスセンターエレベーター修繕料	14,804	14,804	
	御成町在宅福祉サービスセンター外壁等改修修繕料 (前年度からの繰越明許費)	0	54,505	
12節	電信料	175	154	
	御成町在宅福祉サービスセンター昇降機保守点検等手数料	815	814	
	御成町在宅福祉サービスセンター自家用電気工作物保守 点検等手数料	307	220	
13節	御成町在宅福祉サービスセンター総合管理等業務委託料	6,950	5,455	
	御成町在宅福祉サービスセンター機械警備業務委託料	74	74	
14節	フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地土地借地料	9,127	9,127	
	旧横浜地方法務局鎌倉出張所土地・建物賃借料	11,398	11,664	
19節	キディ腰越保育園整備費補助金	293,880	267,724	
<主な特定財源>				
	・国県支出金		178,483	
	・地方債		85,600	

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て環境の整備

拠点保育所(腰越)整備事業

【 こども支援課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て環境の整備

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 施設面の課題等から拠点保育所としての役割を十分に果たすことのできていない地域の拠点保育所について、民間活力を利用した機能拡充を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・平成30年度策定の拠点保育所整備方針に基づき、腰越地域の拠点保育所を、児童福祉法の「公私連携型保育所」として、民間活力を利用し整備した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,075	138,683	138,306		377
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	新鎌倉山戸建駐車場交通誘導業務委託料		0	439
14節	仮設園舎用地賃借料		4,920	4,920
	仮設園舎賃借料		132,000	132,000
	仮設園舎駐車場賃借料		1,155	947

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ひとり親家庭等生活支援事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 ひとり親家庭等

意図 ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の安定した生活を維持する。

【事業の内容】

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や、父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援としてひとり親家庭自立支援教育訓練給付金、ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金、家賃助成、ひとり親家庭等日常生活支援、福祉資金の貸付けを行った。
- ・遺児が中学校を卒業する際に卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
277,111	276,111	250,365		25,746
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 児童扶養手当認定医報酬 2人		30	15	
8節 遺児卒業祝金		540	270	
ひとり親家庭等児童大学進学支度金		3,300	2,340	
9節 ひとり親家庭自立支援員費用弁償		7	0	
11節 児童扶養手当消耗品費		5	3	
12節 ひとり親家庭等日常生活支援事業補償保険料		24	23	
13節 ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料		84	0	
19節 ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金		1,040	39	
公正証書作成促進補助金		493	93	
20節 ひとり親家庭等家賃助成		20,520	15,372	
児童扶養手当		242,078	221,957	
ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金		8,790	10,253	
21節 母子、寡婦及び父子福祉資金貸付金		200	0	
<主な特定財源>				
・国県支出金				86,126

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ひとり親家庭等医療助成事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 ひとり親家庭等の子どもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【事業の内容】

- 一定の所得制限を設け、ひとり親家庭等の高校卒業前の子どもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
58,038	58,038	51,167		6,871
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	医療助成事務用消耗品費		39	6
	医療証等印刷製本費		27	24
12節	審査支払手数料		1,547	1,185
20節	医療扶助費		56,425	49,952
<主な特定財源>				
	・国県支出金			23,599

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

【こども家庭相談課(旧:こども相談課)】

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 ひとり親家庭等の養育者

意図 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、生活の安定と自立を支援する。

【事業の内容】

- ・ひとり親家庭等の養育者に、特別給付金を支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	135,416	107,804		27,612

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節	会計年度任用職員報酬 2人	0	383
3節	超過勤務手当	0	28
9節	給付金支給事業費用弁償	0	11
11節	消耗品費	0	131
	印刷製本費	0	0
12節	手数料	0	151
13節	子育て世帯生活支援特別給付金対応作業委託料	0	0
19節	子育て世帯生活支援特別給付金	0	107,100

支	給	件	数
			2,142人

<主な特定財源>

・国県支出金 123,051

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て家庭への支援

公立保育所管理運営事業

【 こども支援課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・腰越保育園の民営化に伴う引き継ぎ保育等を実施した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・岡本保育園園舎を賃借した。
- ・その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
376,474	347,042	326,671		20,371
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 24人		2,517	2,516
8節	人形劇等公演謝礼		240	200
9節	非常勤嘱託員費用弁償		42	40
11節	保育用消耗品費		10,318	7,199
	燃料費		1,583	870
	印刷製本費		97	93
	光熱水費		36,550	22,386
	維持修繕料		14,000	13,965
	備品修繕料		400	355
	給食賄材料費		75,110	67,493
	医薬材料費		84	67
12節	電信料		844	855
	公立保育園業務支援システム手数料		0	1,131
	昇降機保守点検(深沢こどもセンター)手数料等		4,488	3,760
13節	処理困難備品廃棄処分委託料		150	100
	清掃業務委託料		14,237	11,507
	用務・軽作業業務委託料		10,256	8,658
	警備委託料		593	593
	グリストラップ清掃業務及び油汚泥収集運搬業務委託料		618	647
	油汚泥処分業務委託料		214	233
	布団乾燥委託料		1,315	1,029
	ゴミブリ駆除委託料		68	68
	園庭整備等委託料		543	0
	こどもセンター高所窓清掃委託料		275	212
	第三者評価業務委託料		363	0
	給食調理業務委託料		73,458	73,266

	保育士派遣業務委託料	55,796	41,465
	空調機定期点検業務委託料	161	161
	腰越保育園引継ぎ保育業務委託料	20,127	19,677
	仕器等移転業務委託料	1,480	432
14節	公立保育園卒園遠足バス賃借料等	1,381	1,280
	岡本保育園園舎賃借料	39,248	39,248
	公立保育園保育ICTシステム使用料	6,848	4,799
18節	保育園用備品購入費	2,618	1,960
19節	日本スポーツ振興センター災害共済等負担金	447	406
22節	過少収納時補てん金	5	0
<主な特定財源>			
	・国県支出金		13,883

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て家庭への支援

あおぞら園管理運営事業

【 発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童及びその保護者等

意図 児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。

効果 発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこ

【 事業の内容 】

- ・発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助した。
- ・児童発達支援センターに指定管理者制度を導入し民間の障害児支援の専門性等を活用することで機能充実を図るとともに、官民の役割分担を通じて障害児支援体制の充実と一体的に進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68,206	68,206	67,304		902
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 あおぞら園維持修繕料			3,100	1,701
13節 あおぞら園指定管理料			65,106	65,105
18節 あおぞら園冷蔵庫備品購入費			0	498

利用状況

・児童発達支援センターあおぞら園

児童発達支援 開園日数:242日 年間利用児数:延5,835人(在籍児数31人)

保育所等訪問支援 年間利用児数:延29人(在籍児数4人)

相談支援 支援計画:45人 モニタリング:138人

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て環境の整備

放課後子ども総合プラン施設整備事業

【

こども支援課

】

※重点事業(事業CD:4-2-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する小学生及び乳幼児等

意図 全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。

効果 地域等の協力を得ながら豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。

待機児童の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 特別支援学級の開設に向けて、稲村ヶ崎小学校校舎内にある放課後子ども総合プラン施設を移転させるため、同校敷地内に施設整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,023	2,331	2,325		6
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
13節	用地測量業務委託料	444	444	
	試掘調査業務委託料	301	405	
	地質調査業務委託料	495	385	
	防災備蓄倉庫移設業務委託料	783	783	
	体育倉庫解体撤去業務委託料	0	308	

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費
 ◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

生活保護事務

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 健康福祉
 施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,105	22,105	20,235		1,870
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 嘱託医報酬(一般・精神科) 2人		1,606	1,606	
9節 就労支援員費用弁償		24	15	
11節 消耗品費		125	98	
12節 携帯電話使用料		211	136	
生活保護等版レセプト管理システムクラウド利用料		784	784	
レセプト管理システム健康管理支援サービス等利用料		990	990	
レセプト管理システム医療援助オンライン利用料		990	715	
統合専用端末回線使用料		119	89	
一般診療等審査手数料		1,628	1,540	
相続財産管理人申立官報公告料等		26	0	
13節 住宅片付事業委託料		451	0	
レセプト点検事業委託料		317	291	
保護費封入委託料		132	100	
保健師派遣委託料		3,234	1,672	
生活保護システム改修委託料(医療扶助オンライン)		9,350	9,350	
ネットワーク機器設置委託料		1,320	0	
ネットワーク機器保守委託料		12	0	
生活保護システム改修委託料(令和5年度基準改定等)		0	2,200	
18節 統合専用端末購入費		786	649	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				14,126

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

【 職員給与費 】		(単位:千円)	
<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		104,657	107,572
・ 2節 給料	一般職	46,478	46,811
	一般職職員 15人		
・ 3節 職員手当等		41,218	44,111
	扶養手当	1,311	1,217
	地域手当	7,149	7,204
	通勤手当	1,479	1,594
	超過勤務手当	6,422	9,796
	休日給	10	69
	特殊勤務手当	534	414
	期末勤勉手当	20,097	20,814
	住居手当	2,956	2,148
	児童手当	1,260	855
・ 4節 共済費		16,961	16,650
	市町村職員共済組合負担金		

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

健康福祉部生活福祉課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		11,957	9,012
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	8,366	6,670
	会計年度事務補助職員 3人		
	就労支援員 1人		
	生活保護面接相談員 1人		
・ 3節 職員手当等		1,666	1,301
	期末手当		
・ 4節 共済費		1,013	575
	市町村職員共済組合負担金	412	209
	社会保険料	561	323
	雇用保険料	40	43
・ 9節 旅費		912	466
	費用弁償		

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 10 扶助費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

扶助事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,148,600	2,378,600	2,177,647		200,953
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
20節 生活扶助費	延	11,249 人	565,000	626,865
医療扶助費	延	11,414 人	1,119,000	1,052,882
教育扶助費	延	357 人	3,200	3,202
住宅扶助費	延	9,946 世帯	379,000	401,433
生業扶助費	延	128 人	3,500	2,325
出産扶助費	延	0 人	1,000	0
葬祭扶助費	延	36 人	6,700	8,087
施設事務費	延	35 人	7,000	6,132
施設委託費	延	124 人	4,000	2,659
介護扶助費	延	3,658 人	59,000	73,701
就労自立給付金	延	8 人	800	361
進学準備給付金	延	0 人	400	0
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,820,795

(款) 15 民生費 (項) 20 災害救助費 (目) 5 災害救助費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

災害救助事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して、災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【 事業の内容 】

- ・ 火災等により被害を受けた方に対して、見舞金・弔慰金を支給した。
- ・ 異常な自然現象により被害を受けた方に対する、生活の立て直しに資するための災害援護資金の貸付けは、該当がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,135	1,355	1,040		315
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	災害弔慰金及び災害障害見舞金支給審査委員会報酬		42	0
8節	小災害緊急一時避難所開設費用等報償費		73	0
10節	小災害見舞金等交際費		1,000	1,040
11節	風水害避難所開設用消耗品費		10	0
21節	災害援護資金貸付金		10	0

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

医療・保健関係団体支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 補助団体等

意図 補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・ 市民への健康啓発等を行っている団体の運営を支援するために補助金等を交付した。
- ・ 医療機関等に対して、物価高騰による影響の軽減を図るための支援金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,199	63,432	62,485		947
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	令和5年度鎌倉市医療機関等物価高騰対応支援金	0	54,104	
11節	消耗品費	0	73	
12節	郵便料	0	155	
19節	地域医療センター維持管理費負担金	1,261	1,215	
	神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部運営費等負担金	80	80	
	鎌倉市医師会運営費補助金	2,348	2,348	
	鎌倉市歯科医師会運営費補助金	1,272	1,272	
	鎌倉市衛生協議会運営費補助金	3,000	3,000	
	鎌倉市薬剤師会運営費補助金	78	78	
	鎌倉助産師会運営費補助金	71	71	
	鎌倉食品衛生協会運営費補助金	58	58	
	鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会運営費補助金	31	31	
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			52,305

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

保健衛生運営事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画を推進し、市民の健康寿命の延伸を図った。
- ・自殺に関する基本的な知識や命の大切さについての周知啓発を図った。また、自殺対策基本法に基づき、総合的な自殺対策の展開を図った。
- ・かながわ未病改善宣言に基づき、県や近隣市町と協力し未病改善の取り組みを行った。
- ・骨髄・末梢血管細胞提供者(ドナー)の経済的な負担を軽減し、骨髄移植等の推進を図るため、ドナーとなった市民及びドナーが勤務する事業所を対象に助成金を交付する事業は、申請がなかった。
- ・40歳未満の末期がんの方が住み慣れた自宅で安心して自分らしく過ごせるように、在宅サービス利用料の一部を助成金として交付する事業は、申請がなかった。
- ・がん罹患者の生活の質の向上、社会参加が前向きにできるよう、老若男女を問わず、抗がん剤治療による脱毛に対応するため、ウィッグ購入費用の助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,946	5,946	3,921		2,025
<支出内訳>		当初予算額 支出済額		
1節	健康づくり計画推進委員会委員報酬 13人	304	264	
	鎌倉市自殺対策計画策定委員会委員報酬 8人	328	318	
8節	地域自殺対策ゲートキーパー養成講座講師等謝礼	470	390	
11節	地域自殺対策啓発用等消耗品費	217	118	
	印刷製本費	175	0	
	備品修繕料	83	141	
	医薬材料費	10	0	
12節	救急医療及び健診等保険料	538	439	
14節	自殺対策講演会等会場使用料	51	2	
19節	未病サミット参加負担金	200	0	
	骨髄・末梢血管細胞提供者助成金	210	0	
	若年者の在宅ターミナルケア助成金	360	0	
	ウィッグ購入費用補助金	3,000	2,249	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			343

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

救急医療対策事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 休日、夜間に休日夜間急患診療所で小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、繁忙期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行った。
- ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- ・ 市民からの問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- ・ 鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民に係る救急医療に関し発生した損失医療費について、補助金を交付する事業は、申請がなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,502	149,502	145,082		4,420
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	光熱水費	1,204	509	
	休日夜間急患診療所修繕料	100	0	
12節	電信料	60	59	
	外国籍市民救急医療対策費レセプト審査手数料	1	0	
13節	休日夜間急患診療所業務委託料	55,677	52,253	
	二次救急医療確保対策調整業務委託料	100	100	
	病院群輪番制業務委託料	81,724	81,913	
	単独医療機関制業務委託料	8,659	8,659	
	救急電話音声自動対応業務委託料	264	264	
	休日夜間急患診療所清掃委託料	1,711	1,325	
19節	外国籍市民救急医療対策費補助金	2	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,864

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

口腔保健センター運営事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の休日の歯科診療及び障害者に対する歯科診療に対応するため。

効果 休日の急病への迅速な対応及び障害者歯科診療を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者歯科診療を行った。
- ・ 休日昼間に歯科急患診療を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,056	27,056	25,894		1,162
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		50	0	
台在宅福祉サービスセンター所管部分修繕費		300	0	
12節 電信料		89	84	
13節 口腔保健センター業務委託料		24,141	23,417	
口腔保健センター保安警備業務委託料		784	702	
14節 口腔保健センター設備賃借料		1,692	1,691	

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

こどもみらい部こども家庭相談課(母子保健担当)(旧:市民健康課)

健康福祉部市民健康課(旧:新型コロナウイルスワクチン接種担当含む)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	239,206	214,618
・ 2節 給料 一般職	108,953	99,507
一般職職員 29人		
・ 3節 職員手当等	89,733	79,468
扶養手当	2,078	1,859
地域手当	16,952	15,363
通勤手当	2,412	2,298
超過勤務手当	12,420	9,864
休日給	182	47
管理職手当	1,973	986
特殊勤務手当	25	18
期末勤勉手当	48,339	44,759
住居手当	4,536	3,614
管理職員特別勤務手当	26	0
児童手当	790	660
・ 4節 共済費	40,520	35,643
市町村職員共済組合負担金		

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部こども家庭相談課(旧:市民健康課)

健康福祉部市民健康課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		76,950	63,397
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	56,742	49,483
	会計年度事務補助職員 1人		
	栄養指導員 3人		
	健康づくり事務員 5人		
	母子保健事務員 4人		
	成人保健活動員 3人		
	母子保健指導員 31人		
	母子保健活動員 5人		
	母子保健コーディネーター 9人		
	地域保健活動員 3人		
・ 3節 職員手当等		9,551	8,356
	期末手当		
・ 4節 共済費		6,529	4,213
	市町村職員共済組合負担金	2,552	1,378
	社会保険料	3,546	2,407
	雇用保険料	431	428
・ 9節 旅費		4,128	1,345
	費用弁償		

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

予防接種事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・ 不活化ポリオ、BCG、MR、麻しん、風しん、四種混合、二種混合、三種混合、日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、高齢者肺炎球菌、B型肝炎、成人の風しん、ロタの予防接種を行った。また、風しん第5期の抗体検査も行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
576,148	576,148	449,697		126,451
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	予防接種健康被害調査委員会委員報酬		104	0
10節	予防接種健康被害見舞金		30	30
11節	消耗品費		537	509
	印刷製本費		2,060	983
12節	予防接種事故賠償補償保険料		458	453
13節	定期予防接種(A類疾病)委託料		434,691	324,717
	インフルエンザ予防接種委託料		97,757	99,289
	高齢者肺炎球菌予防接種委託料		9,547	9,189
	成人の風しん等予防接種委託料		750	586
	風しん第5期抗体検査・予防接種委託料		20,673	7,409
	予防接種データ入力業務委託料		1,893	1,119
	風しん第5期クーポン作成及び発送業務委託料		2,316	1,265
19節	予防接種健康被害救済給付等負担金		35	0
	破損等ワクチン負担金		158	62
	予防接種費用自己負担金補助金		5,139	4,086
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,523

予防接種ごとの接種人数

種 別	接種人数	種 別	接種人数
不 活 化 ポ リ オ	延 0人	インフルエンザ	26,968人
B C G	811人	子 宮 頸 が ん	延 2,500人
M R	延 1,900人	ヒ ブ	延 3,237人
麻 し ん	延 0人	小 児 用 肺 炎 球 菌	延 3,247人
風 し ん	延 0人	成 人 の 風 し ん	10人
三 種 混 合	延 1人	成 人 の M R	78人
四 種 混 合	延 3,509人	水 痘	延 1,629人
二 種 混 合	1,174人	高 齢 者 肺 炎 球 菌	1,503人
日 本 脳 炎	延 4,471人	B 型 肝 炎	延 2,417人
長 期 療 養	延 8人	ロ タ ウ イ ル ス	延 1,760人
		合 計	延 55,223人

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

感染症対策事業

【 市民健康課(旧:新型コロナウイルスワクチン接種担当) 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症のまん延を防止するため。

効果 感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・新型コロナウイルス陽性者のうち、移動手段を持たない市民の搬送事業を行い、それに係る費用を負担する事業は、申請がなかった。(令和5年5月7日で事業終了)
- ・新型コロナウイルス陽性者のうち、自宅療養者でかつ生活困窮等の理由で食料品の確保が困難な市民に対し、食料を提供する事業は、執行しなかった。(令和5年5月7日で事業終了)
- ・前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルスワクチンの接種を行うとともに、令和6年度に必要な事業を行うため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,348	687,661	431,615	13,625	242,421
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	会計年度任用職員報酬 2人	0	1,921	
	予防接種健康被害調査委員会委員報酬(前年度からの繰越明許費) 2人	0	66	
	予防接種健康被害調査委員会委員報酬	0	0	
3節	超過勤務手当(翌年度への繰越明許費)	0	2,284	
	会計年度任用職員期末手当	0	392	
8節	介護福祉士会謝礼(前年度からの繰越明許費)	0	0	
	接種券音声資料作成謝礼等(前年度からの繰越明許費)	0	59	
	接種券音声資料作成謝礼等	0	57	
	個別接種推進事業報償費	0	27,786	
9節	会計年度任用職員費用弁償	0	61	
	普通旅費	0	1	
11節	消耗品費(翌年度への繰越明許費)	3,441	326	
	印刷製本費(前年度からの繰越明許費)	0	0	
	光熱水費(前年度からの繰越明許費)	0	0	
12節	郵便料(前年度からの繰越明許費)	0	8,478	
	郵便料(翌年度への繰越明許費)	0	1,888	
	電信料(前年度からの繰越明許費)	0	17	
	広告料(前年度からの繰越明許費)	0	0	
13節	新型コロナウイルスワクチン接種委託料(市内医療機関)(前年度からの繰越明許費)	0	62,130	
	新型コロナウイルスワクチン接種委託料(市外医療機関、大規模接種会場及び職域接種会場)(前年度からの繰越明許費)	0	7,302	
	新型コロナウイルスワクチン接種委託料(翌年度への繰越明許	0	124,180	

	費)		
	新型コロナウイルスワクチン接種予約システム構築等業務委託料 (前年度からの繰越明許費)	0	41,816
	新型コロナウイルスワクチン接種予約システム構築等業務委託料	0	8,516
	新型コロナウイルスワクチン接種予約システム構築及び運用・保 守業務委託料	0	16,544
	新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター運営業務委託料	0	28,590
	集団予防接種会場運営等職員派遣委託料(前年度からの繰越 明許費)	0	6,060
	集団予防接種会場運営等職員派遣委託料	0	1,235
	新型コロナウイルスワクチン接種運営等に係る事務スタッフ人材 派遣業務委託料	0	6,811
	新型コロナウイルスワクチン接種事業システム運用業務委託料 (令和5年5月開始)(前年度からの繰越明許費)	0	16,646
	新型コロナウイルスワクチン接種事業システム運用業務委託料 (令和5年秋開始)	0	20,195
	ワクチン配送・管理業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	4,256
	ワクチン配送・管理業務委託料	0	7,059
	予診票データ入力業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	1,504
	予診票データ入力業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
	医療廃棄物処理業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	545
	医療廃棄物処理業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
	集合契約審査支払委託料(前年度からの繰越明許費)	0	863
	集合契約審査支払委託料(翌年度への繰越明許費)	0	1,238
	新型コロナウイルスワクチン接種会場運営等業務委託料(前年 度からの繰越明許費)	0	7,533
	新型コロナウイルスワクチン接種会場運営等業務委託料	0	0
	個別接種関連業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	24,946
	浄化センター駐車場整備(撤去)委託料	0	0
	フリーザ保守点検業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	0
	福祉総合システム改修委託料(中間サーバー情報連携)(翌年 度への繰越明許費)	0	0
	低温冷凍庫等処分業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
14節	新型コロナウイルスワクチン接種会場受付用機器等賃借料(前 年度からの繰越明許費)	0	0
	会場使用料(鎌倉芸術館)(前年度からの繰越明許費)	0	0
	携帯電話賃借料(前年度からの繰越明許費)	0	143
	本庁舎駐車場使用料(前年度からの繰越明許費)	0	0
	本庁舎駐車場使用料	0	0
	貸し倉庫使用料(前年度からの繰越明許費)	0	0
19節	陽性者搬送に係る負担金	1,907	0
	タクシー助成負担金(前年度からの繰越明許費)	0	0
	予防接種健康被害救済給付等負担金等(前年度からの繰越明 許費)	0	167

<主な特定財源>

・国県支出金

431,606

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

成人保健事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進に向け、啓発を図るため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成を図り、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。また、個人及び地域で、健康づくりを継続できる環境をつくる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康増進を図るため、健康教育、健康相談等を行った。
- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。
- ・高齢期まで切れ目なく、健康づくりを継続できるよう、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,509	1,509	874		635
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	健康づくり事業等講師謝礼		80	70
9節	会計年度任用職員費用弁償		67	39
11節	消耗品費		18	16
	医薬材料費		45	0
12節	腸内細菌培養検査手数料		10	4
13節	生活習慣病予防プログラム委託料		579	579
	糖尿病性腎症重症化予防事業委託料		710	166
<主な特定財源>				
	・国県支出金			447

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

成人健康診査事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)
- ・若年期からの生活習慣病予防のため、20歳～39歳の方に検査キットによる健診を実施した。
- ・40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診)
- ・40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した。(問診、口腔内検査)
- ・後期高齢者医療保険の被保険者に後期高齢者健診、40歳以上の生活保護受給者に生活保護受給者健診を実施した。
- ・後期高齢者健診データ登録を行うにあたり、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に必要な健診データを神奈川県国民健康保険団体連合会へ提出し、同会へ登録手数料を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,474	147,471	138,221		9,250
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			3	0
印刷製本費			554	430
12節 後期高齢者健診データ登録手数料			3,339	2,472
13節 歯周病検診委託料			1,342	970
キット健診委託料			2,048	879
肝炎検診(無料クーポン券検診含む)委託料			2,445	1,621
結核検診委託料			1,499	771
後期高齢者(生保受給者)健診委託料			138,244	131,078
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,303

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

がん検診事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

【 事業の内容 】

- ・大腸がん(40歳以上)、肺がん(40歳以上)、胃がん(リスク検診:40歳～49歳及び75歳以上、内視鏡検診:50歳～74歳の偶数年齢)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(乳房健康指導:20歳～38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影:40歳以上偶数年齢の女性)、前立腺がん(50歳以上の男性)の検診を実施した。
- ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)
- ・鎌倉市歯科医師会の実施する口腔がん検診に補助金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
368,303	368,303	337,980		30,323
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	43	23	
	印刷製本費	2,093	2,027	
12節	がん精密検査受診結果文書作成手数料	1,219	812	
13節	健診結果データ集約等業務委託料	6,466	5,925	
	健診結果データ入力業務委託料	3,428	2,591	
	大腸がん検診委託料	68,995	63,239	
	肺がん検診委託料	135,312	129,458	
	胃がんリスク検診等委託料	14,337	8,822	
	胃がん内視鏡検診委託料	32,950	32,885	
	子宮頸がん検診(無料クーポン券検診含む)委託料	41,756	37,588	
	乳がん個別検診(無料クーポン券検診含む)委託料	30,517	26,994	
	前立腺がん検診委託料	27,210	25,028	
	乳がん集団検診(無料クーポン券検診含む)委託料	3,177	2,340	
	検診講習会費等委託料	300	61	
19節	口腔がん検診事業補助金	500	187	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			53

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

市民健康課

施策の方針 健康長寿社会の構築

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

食育事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・市民の食育推進の指針となる鎌倉食育推進計画の推進、進捗管理、評価を行った。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い、市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が円滑に食育推進をするための環境づくりを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
801	801	475		326
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市食育推進会議委員報酬 9人		204	164
8節	食育カレッジ等講師謝礼		202	30
11節	消耗品費		131	94
	印刷製本費		65	52
14節	教室等会場使用料		199	135

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

ICT活用健康づくり事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民、市内企業等

意図 健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。

効果 市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・健康づくりに関するポイント制度の管理・運営をし、市民の健康づくりを推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,363	17,363	14,216		3,147

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 システム運用等委託料

17,363

14,216

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎子育て ○子育て家庭への支援

母子保健事業

【こども家庭相談課(旧:市民健康課)】

※重点事業(事業CD:4-2-1-6)

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康増進を図るため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【事業の内容】

- ・子育て世代包括支援センター「ネウボラすくすく」において、妊娠期から、子育て期まで切れ目のない支援の充実を図るために、母子健康手帳の交付、妊産婦健康診査の助成、乳児家庭全戸訪問、乳幼児健康診査、産前・産後サポート事業、産後ケア事業等を行った。
- ・妊娠・出産・子育て期における各種相談に応じ、必要な情報提供、保健指導、家庭訪問等を行った。
- ・新生児聴覚検査、1か月児健康診査の助成を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
147,824	149,006	124,167		24,839
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	乳幼児身体発育調査員報酬 4人		0	33
8節	産後ケア事業等講師報償費		660	375
	産後ケア事業等保育ボランティア等報償費		204	176
9節	会計年度任用職員費用弁償		984	570
11節	母子健康手帳等消耗品費		967	640
	すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費		844	707
	備品修繕料		26	0
	医薬材料費		209	15
13節	乳児健診(4か月児、お誕生前)委託料		16,792	13,363
	医師派遣委託料(1歳6か月児・3歳児健診)		2,972	2,941
	歯科医師派遣委託料(1歳6か月児・2歳児歯科・3歳児健診)		4,049	4,021
	看護師派遣委託料(1歳6か月児・3歳児健診)		4,189	2,971
	視聴覚検査委託料(3歳児健診)		2,057	1,978
	尿検査委託料(3歳児健診)		598	647
	助産師派遣委託料		410	410
	健康診査等滅菌配送業務委託料		335	167
	妊産婦・新生児等訪問指導業務委託料		7,147	5,736
	産後ケア事業業務委託料		10,094	10,993
	妊婦歯科健診委託料		1,851	1,576
	産前・産後サポート事業委託料		847	847
14節	産後ケア事業等会場使用料		811	617
19節	妊産婦健診負担金		71,242	62,761
	新生児聴覚検査負担金		2,706	1,222
	1か月児健康診査負担金		2,819	1,256

産後のお母さん向け配食サービス負担金	3,525	2,798
産前産後女性の健康サポート事業負担金	360	360
乳児健診補助金	171	111
新生児聴覚検査補助金	285	724
1か月児健康診査補助金	300	586
妊産婦健診補助金	4,470	4,546
特定不妊治療費助成金	5,000	843
不育症治療費助成金	900	177

<主な特定財源>

・国県支出金	23,740
--------	--------

妊産婦健康診査

区分	受診者数		区分	受診者数	
	委 託	補助金		委 託	補助金
1回目	801人	17人	10回目	711人	98人
2回目	803人	16人	11回目	668人	103人
3回目	782人	29人	12回目	590人	92人
4回目	784人	30人	13回目	482人	79人
5回目	786人	33人	14回目	356人	55人
6回目	776人	37人	15回目	584人	63人
7回目	776人	42人	15回目追加	569人	35人
8回目	769人	59人	16回目	700人	110人
9回目	754人	75人	16回目追加	671人	54人
合 計			12,362人 1,027人		

乳児健康診査

区 分	受診者数
4か月児健康診査	824人
お誕生前健康診査	836人
合 計	1,660人

幼児健康診査

区 分	受診者数
1歳6か月児健康診査	973人
2歳児歯科健康診査	493人
3歳児健康診査	1,099人
合 計	2,565人

幼児精密健康診査

区 分	受診者数
4か月児健康診査	0
お誕生前健康診査	22人
合 計	22人

特定不妊治療費・不育症治療費助成金

区 分	実 数	延 数
特定不妊治療費助成金	8件	8件
不育症治療費助成金	3件	3件

産後ケア事業(個別)

実人数	延日数		
151人	宿 泊	通 所	訪 問
	457日	32日	89日

産前・産後サポート事業

区 分	回 数	実 数
妊娠中のママケア	6回	41組
産後のママケア	8回	76組

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

環境運営事業

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるための基金を積み立てた。
- ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,891	44,991	44,518		473
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			90	90
19節 全国都市清掃会議等負担金			171	171
25節 一般廃棄物処理施設建設基金新規積立金			40,000	40,000
一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金			1,930	1,926
一般廃棄物処理施設建設基金寄附等積立金			1,700	2,331

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

廃棄物処理施設のマネジメント事業

環境施設課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉・深沢クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、最終処分場等

意図 処理施設の整備を行うため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への負荷の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。
- ・ごみ処理を安定的に実行していくために、第3次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画を基に、名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、深沢クリーンセンター等の廃棄物処理施設について、必要な整備に向けた取組を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
309	309	154		155

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節 生活環境整備審議会委員報酬 4人

270 138

9節 生活環境整備審議会委員費用弁償

39 16

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量対策課・環境施設課・環境センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	764,675	741,359
・ 2節 給料 一般職	343,198	336,344
一般職職員 85人		
短時間勤務職員 5人		
・ 3節 職員手当等	292,329	282,957
扶養手当	9,522	8,783
地域手当	54,198	53,155
通勤手当	9,170	10,109
超過勤務手当	30,641	29,984
休日給	27,026	17,272
管理職手当	8,571	9,190
特殊勤務手当	391	384
期末勤勉手当	139,819	141,201
住居手当	9,746	9,960
管理職員特別勤務手当	115	64
児童手当	3,130	2,855
・ 4節 共済費	129,148	122,058
市町村職員共済組合負担金	126,126	118,782
社会保険料	1,196	1,478
雇用保険料	1,826	1,798

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課・ごみ減量対策課・環境センター

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		115,037	104,168
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	80,970	76,328
	会計年度事務補助職員 15人		
	業務従事職員 24人		
	廃棄物検査・指導員 4人		
	廃棄物発生抑制等啓発指導員 7人		
・ 3節 職員手当等		14,976	14,917
	期末手当		
・ 4節 共済費		9,731	8,002
	市町村職員共済組合負担金	3,829	2,627
	社会保険料	5,243	4,705
	雇用保険料	659	670
・ 9節 旅費		9,360	4,921
	費用弁償		

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ収集事業

【 ごみ減量対策課・環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
- ・家庭系ごみの有料化を継続することによりごみの減量を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,011,351	987,298	981,240		6,058
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	手話通訳者謝礼	192	0	
11節	消耗品費	1,573	1,632	
	燃料費	147	64	
	印刷製本費	803	66	
12節	運搬料	1,601	1,135	
13節	カン・ビン収集及びコンテナ配布業務委託料	143,680	143,680	
	燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務委託料	284,928	283,939	
	植木剪定材収集運搬業務委託料	77,106	71,548	
	不燃ごみ収集運搬業務委託料	40,191	40,191	
	容器包装プラスチック収集運搬業務委託料	79,609	79,609	
	製品プラスチック収集運搬業務委託料	17,974	17,974	
	紙類・布類収集運搬処理売却業務委託料	191,852	191,852	
	粗大ごみ収集運搬業務委託料	43,368	43,368	
	周知看板作成委託料	775	628	
	一般廃棄物指定収集袋作成業務委託料	77,913	60,651	
	一般廃棄物指定収集袋保管配送・受注収納業務委託料	16,280	16,280	
	一般廃棄物処理手数料徴収業務委託料	26,178	24,662	
	食用油収集運搬業務委託料	699	116	
	ごみ収集体制策定支援業務委託料	4,300	1,958	
14節	クリーンステーション管理システム賃借料	1,529	1,529	
	車両賃借料	476	279	
	生涯学習センター等使用料	177	79	

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ資源化事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・資源物やごみを品目別に分別し、委託事業により適正な資源化を図った。
- ・事業系ごみについて、事業者訪問等による適正排出の指導を行うことで、分別徹底を図った。
- ・前年度からの繰越明許費により、植木剪定材受入事業場内の修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
580,977	597,753	526,984		70,769
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	植木剪定材堆肥化事業指導協力者報奨金		2,070	1,549
9節	普通旅費		87	86
11節	消耗品費		280	328
	燃料費		196	140
	印刷製本費		1,536	1,434
	光熱水費		325	138
	植木剪定材受入事業場維持修繕料		2,498	543
	植木剪定材受入事業場塵芥飛散防止ネット修繕料		0	1,102
	植木剪定材受入事業場内修繕料(前年度からの繰越明許費)		0	28,908
	坂ノ下積替所維持修繕料		2,497	334
	クリーンステーション維持修繕料		500	0
12節	電信料		146	150
13節	容器包装プラスチック中間処理業務委託料		128,713	116,527
	容器包装プラスチック等再商品化業務委託料		3,327	2,839
	ペットボトル中間処理業務委託料		32,463	33,096
	植木剪定材資源化等業務委託料		262,020	210,271
	不燃ごみ等資源化処理業務委託料		64,581	64,581
	不燃ごみ資源化処理業務委託料(不燃残さ溶融固化処理)		39,746	31,365
	廃乾電池及び廃蛍光管資源化処理業務委託料		6,221	4,804
	粗大ごみ処理手数料収納等事務委託料		2,759	2,719
	産業廃棄物等処理業務委託料		5,756	4,507
	製品プラスチック資源化処理業務委託料		22,453	20,021
	使用済小型電子機器資源化業務委託料		2,217	31
14節	車両等賃借料		586	631
18節	トラックスケール操作端末機器等購入費		0	880

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

3R推進事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、必要な事項についての調査、審議を行った。
- ・ 自治・町内会及び事業者団体から推薦を受け委嘱する廃棄物減量化等推進員と協力し、ごみの減量・資源化を推進した。
- ・ 市民や事業者に向けて、ごみの発生抑制や削減の意識啓発につながる情報発信をSNS等により実施した。
- ・ 本庁舎及び小学校等に設置した大型生ごみ処理機により生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ 家庭用生ごみ処理機に係る助成制度により、各家庭における生ごみの自己処理を促し、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ プラごみゼロを推進するため、ウォーターサーバーの設置を拡充し、マイボトルの普及を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,438	50,520	40,784		9,736
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節 廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 9人			460	238
8節 廃棄物減量化等推進員謝礼			6,000	4,306
9節 廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償			35	0
11節 消耗品費			665	170
印刷製本費			1,946	1,172
光熱水費			395	178
大型生ごみ処理機等維持修繕料			540	157
13節 減量・資源化啓発業務委託料			580	6
大型生ごみ処理機保守管理業務委託料			1,788	1,788
ホームページ管理運営業務委託料			61	61
燃やすごみ組成調査業務委託料(事業系)			6,424	5,280
燃やすごみ組成調査等業務委託料(家庭系)			7,537	6,130
ごみアプリ保守管理業務委託料			1,056	1,056
ウォーターサーバー管理等委託料			2,027	1,581
3R推進ポータルサイト運用保守業務委託料			473	473
ごみ減量通信配布業務委託料			553	638
14節 大型生ごみ処理機賃借料			1,690	1,690
廃棄物処理実務NAVI等利用料			84	81
19節 不用品登録協働事業費負担金			784	783

リユース食器利用費補助金	211	148
生ごみ処理機購入費補助金	17,129	14,848
事業系大型生ごみ処理機購入費等補助金	2,000	0

<主な特定財源>

・国県支出金		448
--------	--	-----

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

廃棄物処理施策推進事業

【 ごみ減量対策課・環境施設課・
環境センター 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 新たな資源化の推進及び施設整備等を図り、安定的なごみ処理体制を構築するため。

効果 安定的なごみ処理体制を構築し、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・第3次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画に基づき、新たな資源化の推進及び施設整備等を図り、安定的なごみ処理体制の構築を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
512,404	535,053	420,683		114,370
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 事業者選定委員会委員報酬			306	0
8節 廃棄物処理施策推進アドバイザー謝礼			102	17
9節 普通旅費			100	96
12節 運搬料			0	237
13節 事業系ごみ資源化業務委託料			443,918	379,432
事業系ごみ不適物処理業務委託料			1,000	544
一般廃棄物焼却処理等業務委託料			61,668	13,858
既存施設周辺道路調査業務委託料			3,865	3,630
名越中継施設発注支援等業務委託料			0	22,649
14節 紙おむつ資源化機器賃借料			1,445	0
19節 紙おむつ実証実験作業経費負担金			0	220
<主な特定財源>				
・国県支出金				6,794

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

最終処分事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 焼却残さ全量を溶融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を推進した。
- ・ 最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
123,326	131,870	129,666		2,204
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 最終処分場地下水水質検査協力謝礼			60	60
9節 普通旅費			89	65
11節 消耗品費			80	80
燃料費			5	0
光熱水費			61	26
最終処分場集水設備等維持修繕料			200	192
12節 最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料			944	500
最終処分場精密水質検査業務手数料			548	330
最終処分場定期水質検査業務手数料			469	180
13節 焼却残さ溶融固化処理等業務委託料			117,724	125,391
ごみ焼却残さ中の金属等の測定業務委託料			233	234
最終処分場保有水等運搬処理委託料			380	0
19節 環境保全協力金			1,017	1,092
22節 最終処分場用地等営農損失補償金			1,516	1,516

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ処理広域化計画推進事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30	30	18		12
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会消耗品費			30	18

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
623,627	542,911	517,156		25,755
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 薬剤等消耗品費			34,695	30,612
燃料費			5,345	7,426
光熱水費			253,039	117,981
焼却設備等修繕料			119,790	119,790
クレーン修繕料			5,403	5,786
破碎機修繕料			7,392	7,392
空気圧縮機修繕料			4,323	4,323
排ガス分析計修繕料			3,201	3,201
2号炉耐火物緊急修繕料			0	16,500
1号炉耐火物緊急修繕料			0	6,402
1号炉左側面耐火物緊急修繕料			0	6,996
ごみクレーン2号機横行モーター修繕料			0	1,069
その他修繕料			7,300	621
医薬材料費			20	20
12節 電信料			520	247
電気工作物定期点検手数料			990	990
ごみ質検査手数料			713	500
ダイオキシン類調査等手数料			1,338	1,326
13節 焼却施設維持管理業務委託料			133,188	133,188
粗大ごみ等処理業務委託料			28,906	28,906
環境調査業務委託料			6,468	5,174
周辺土壌・大気環境調査業務委託料			3,113	2,611
クレーン点検業務委託料			1,008	1,008
作業環境調査業務委託料			721	666
定期機能検査業務委託料			499	499
警備業務委託料			472	472
排水処理施設浚渫業務委託料			429	429

	洗車排水汚水槽清掃業務委託料	418	418
	冷暖房機器点検業務委託料	269	269
	清掃業務委託料	247	247
	受水槽清掃点検業務委託料	130	130
	樹木剪定業務委託料	98	98
	不快害虫駆除業務委託料	55	55
	金銭登録機保守点検業務委託料	67	67
	防犯カメラ保守点検業務委託料	51	51
	フロンガス処理業務委託料	88	88
	破碎機室2階石綿除去業務委託料	0	8,085
	作業環境調査業務委託料(総繊維数濃度測定)	0	376
14節	用地借料	1,387	1,387
	AED賃借料等	139	124
16節	施設補修用原材料費	450	656
27節	汚染負荷量賦課金	1,355	970

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための中継施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,544	142,570	130,576		11,994
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 施設維持等消耗品費			6,688	6,678
燃料費			1,814	1,354
光熱水費			25,278	10,320
クレーン補修修繕料			10,867	10,731
搬出用コンベア修繕料			4,524	0
金属プレス機修繕料			500	0
脱臭ファン修繕料			5,500	4,290
脱臭棟設備修繕料			1,298	0
自走式コンベアごみ投入検査機修繕料			110	0
柱上用SOG開閉器交換修繕料			0	643
油圧ユニット修繕料			0	1,265
ごみピット内漏水箇所緊急修繕料			0	1,815
その他修繕料			4,202	6,481
医薬材料費			70	66
12節 電信料			378	475
水質検査手数料			527	433
自家用電気工作物定期点検手数料			528	528
消防設備点検等手数料			98	91
13節 脱臭設備等保守点検業務委託料			14,615	8,228
排水処理施設各槽清掃業務委託料			477	477
警備業務委託料			472	472
清掃業務委託料			248	248
浄化槽清掃業務委託料			111	111
粗大ごみ等処理業務委託料			25,542	25,542
ボイラー清掃点検業務委託料			187	187
搬出施設運転委託料			35,928	35,590
場内樹木伐採委託料			493	487

	高速シャッター年次点検業務委託料	399	399
	自走式コンベアごみ投入検査機保守管理業務委託料	746	744
	重油地下タンク点検業務委託料	99	99
	不快害虫駆除業務委託料	81	81
	金銭登録機保守点検業務委託料	46	0
	防犯カメラ保守点検業務委託料	51	51
	スズメバチの巣駆除業務委託料	44	44
	薬品等処理業務委託料	137	0
	シャッター保守点検業務委託料	81	81
	ごみピット内清掃等業務委託料	0	9,900
14節	災害対策用発電機賃借料	2,322	1,717
	トラックスケール賃借料等	275	273
16節	施設補修用原材料費	550	436
19節	講習会負担金	50	58
27節	汚染負荷量賦課金	208	181

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,245	4,568	3,084		1,484
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 収集作業用等消耗品費		800	743	
燃料費		965	523	
印刷製本費		83	0	
車両修繕料		3,000	1,617	
16節 作業用原材料費		100	0	
19節 安全運転管理者法定講習会等負担金		5	4	
22節 過少収納時補てん金		1	0	
27節 自動車重量税		291	197	

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,366	16,139	14,737		1,402
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 収集作業用等消耗品費			1,049	1,049
燃料費			2,733	2,980
印刷製本費			84	84
車両修繕料			4,962	3,998
12節 じん芥収集車登録等手数料			13	11
自賠責保険料			21	18
13節 緊急収集運搬業務委託料			1,485	1,640
18節 じん芥収集車購入費			4,643	4,585
19節 安全運転管理者法定講習会負担金			8	7
22節 過少収納時補てん金			1	0
27節 自動車重量税			367	365

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費
 ◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

【 笹田リサイクルセンター管理運営事業 】

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 生活環境
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【 事業の内容 】

・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笹田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
185,315	173,281	162,692		10,589
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 資源物収集コンテナ等消耗品費			4,368	4,339
燃料費			92	51
給茶機用茶葉食糧費			13	13
印刷製本費			97	100
光熱水費			35,321	17,665
選別設備修繕料			24,717	24,716
その他修繕料			1,500	1,196
電気関連修繕料			1,500	568
車両修繕料			258	189
医薬材料費			5	5
12節 電信料			179	109
電気工作物定期点検手数料			583	583
エレベーター定期点検手数料			502	502
消防用設備等点検手数料			469	468
13節 資源物選別処理等業務委託料			64,020	64,020
運転保守管理等業務委託料			33,264	33,264
再生利用施設啓発業務委託料			4,245	4,245
選別設備保守点検業務委託料			3,410	3,410
清掃業務委託料			2,847	2,392
脱臭設備保守点検業務委託料			2,233	1,573
空気調和設備保守点検業務委託料			2,200	0
自動倉庫保守点検業務委託料			589	589
植栽管理業務委託料			479	412
警備業務委託料			472	472
作業環境調査委託料			305	301
屋上植栽管理業務委託料			255	247
廃プラスチック類運搬処分業務委託料			198	97
給茶機保守点検業務委託料			46	46

	受水槽清掃点検委託料	34	34
	金属くず運搬処分業務委託料	15	17
14節	フォークリフト賃借料	914	913
	AED賃借料等	128	127
16節	選別棟維持管理部材用原材料費	50	22
27節	自動車重量税	7	7

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

し尿収集事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,972	5,972	5,360		612

<支出内訳>

11節 印刷製本費

当初予算額

21

支出済額

20

13節 し尿収集運搬及び手数料徴収業務委託料

5,951

5,340

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,662	32,885	29,414		3,471
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 薬剤等消耗品費			2,045	2,042
燃料費			108	73
光熱水費			13,374	6,780
No.1ドラムスクリーン修繕料			1,265	1,265
直流電源装置盤部品取替修繕料			1,235	1,229
No.1破砕ポンプ部品取替修繕料			1,219	1,210
その他修繕料			4,084	4,049
車両修繕料			220	74
12節 電信料			100	76
電気工作物定期点検等手数料			528	528
13節 し尿等受入施設管理業務委託料			6,336	6,336
脱臭設備保守点検業務委託料			2,387	1,760
場内樹木管理業務委託料			2,486	2,261
産業廃棄物収集運搬業務委託料			490	461
警備業務委託料			329	329
放流水浮遊物質量測定業務委託料			317	317
産業廃棄物処分業務委託料			264	171
オーバースライダー定期点検業務委託料			92	92
受水槽清掃点検業務委託料			67	59
16節 施設維持管理用原材料費			50	20
19節 下水道負担金			659	276
27節 自動車重量税			7	6

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

公害等対策事業

環境保全課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【 事業の内容 】

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」及び「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」による届出の受理等及び指導を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「騒音規制法」及び「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備を行った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置を推進した。
- ・「水道法」及び「小規模水道及び小規模貯水槽水道に関する条例」に基づく届出受理、検査等による水道衛生対策を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,056	5,284	4,287		997
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	講師等謝礼		10	0
11節	消耗品費		250	33
	印刷製本費		21	20
	備品修繕料		16	0
12節	電信料		35	34
	臭気測定調査業務手数料		506	0
	飲料水水質検査手数料		209	0
13節	深夜花火防止巡回警備業務委託料		1,144	1,001
	地盤沈下精密水準測量業務委託料		2,508	1,443
	河川水質調査業務委託料		555	484
	自動車騒音常時監視調査業務委託料		1,364	1,091
18節	自動車騒音常時監視調査用ノートパソコン購入費		0	165
19節	神奈川県浄化槽推進協議会負担金		16	16
	合併処理浄化槽設置補助金		422	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			880

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

まちの美化推進事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 清潔で美しいまちの形成が推進される。

【 事業の内容 】

- ・不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。
- ・ごみの散乱をされない環境づくりのため、まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・市民団体と協働して落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。
- ・公衆トイレ(39箇所)の日常清掃業務等を実施した。
- ・いわゆるごみ屋敷の不良な状態の解消を図るための支援及び措置を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
84,461	82,407	73,741		8,666
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	まち美化推進協議会委員報酬 7人		204	72
	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員報酬 5人		124	52
8節	まち美化清掃活動奨励金		1,342	1,174
	まち美化推進員等報償費		270	204
9節	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員等費用弁償		6	1
11節	消耗品費		900	528
	光熱水費		15,907	12,231
	公衆トイレ等維持修繕料		2,700	2,058
12節	電信料		100	54
	不法投棄物(家電リサイクル法適用分)処理手数料		98	60
13節	公衆トイレ清掃等業務委託料 39箇所		42,812	42,186
	クリーンアップごみ収集等業務委託料		172	172
	処理困難物処分業務委託料		302	256
	不法投棄物収集運搬業務委託料		38	38
	いわゆるごみ屋敷対策排出支援業務委託料		545	0
	路上喫煙防止啓発看板等作成業務委託料		495	317
	路上喫煙防止巡回啓発等業務委託料		7,742	7,154
	屋内型喫煙所集塵脱臭機維持管理業務委託料		847	886
	花火大会翌日クリーンステーション集積ごみ回収業務委託料		385	0
	花火大会海岸臨時ごみ回収業務委託料		275	0
	花火大会産業廃棄物運搬業務委託料		132	0

	花火大会回収ごみ処理業務委託料	1,056	0
19節	鎌倉駅東口公衆トイレ電気料金等負担金	608	298
	屋内型喫煙所設置費補助金	5,000	5,000
	屋内型喫煙所維持管理費補助金	2,400	1,000
22節	過少収納時補てん金	1	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海岸清掃事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・公益財団法人かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,967	16,209	16,187		22
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 印刷製本費			100	88
13節 海洋ごみ処分等業務委託料			10	242
19節 公益財団法人かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金			15,857	15,857
<主な特定財源>				
・国県支出金				10,610

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

環境基本計画等推進事業

【 環境政策課 】

※重点事業(事業CD:3-3-3-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を始めとする環境関連の計画を推進し、持続可能な社会の構築を目指すため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境にやさしい環境保全活動や再生可能エネルギーの導入、効率的な利用に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させ、将来にわたって循環型の持続可能な社会が実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市環境基本計画を推進するため、各施策の進捗状況に関する点検・評価を行い、計画に対する進行管理を図った。
- ・ 地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、環境マネジメントシステムや環境教育の推進など環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・ 鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例に基づき、鎌倉市エネルギー計画を推進した。
- ・ 鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画(区域施策編)の拡充を図るため、脱炭素社会の実現に資する地域脱炭素化促進事業の策定に向けた素案の取りまとめを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,157	16,844	16,123		721
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	環境審議会委員報酬 6人		288	120
8節	環境教育の人材派遣謝礼		606	400
	かまくら環境保全推進会議委員等謝礼		134	27
9節	環境審議会委員費用弁償		66	0
11節	消耗品費		122	55
	印刷製本費		37	104
13節	不要紙類回収運搬業務委託料		2,928	2,615
	環境教育事業委託料		220	220
	地域脱炭素化促進事業策定支援業務委託料		7,205	7,205
	脱炭素普及啓発ポスター等デザイン作成業務委託料		0	55
14節	環境教育会場使用料		36	33
19節	横浜グリーン購入ネットワーク負担金		15	15
	住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等設置費補助金		5,500	5,274

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境政策エネルギー担当)・環境保全課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	119,876	132,012
・ 2節 給料 一般職	56,167	60,840
一般職職員 16人		
・ 3節 職員手当等	43,186	49,533
扶養手当	1,792	2,800
地域手当	8,822	9,697
通勤手当	1,008	914
超過勤務手当	4,070	4,849
休日給	54	137
管理職手当	987	986
特殊勤務手当	19	7
期末勤勉手当	23,836	26,653
住居手当	1,605	2,212
管理職員特別勤務手当	13	38
児童手当	980	1,240
・ 4節 共済費	20,523	21,639
市町村職員共済組合負担金	20,337	21,458
雇用保険料	186	181

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課・環境保全課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		17,921	17,814
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	12,455	13,368
	会計年度事務補助職員 12人		
	狂犬病予防注射会場受付等事務職員 3人		
	犬の登録等事務職員 1人		
・ 3節 職員手当等		2,241	2,452
	期末手当		
・ 4節 共済費		1,642	1,393
	市町村職員共済組合負担金	640	461
	社会保険料	860	793
	雇用保険料	142	139
・ 9節 旅費		1,583	601
	費用弁償		

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,654	5,508	3,873		1,635
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費				250 226
燃料費				124 33
備品修繕料				77 77
車両修繕料				537 171
16節 機材補修用原材料費				10 1
19節 スズメバチの巣駆除費補助金				2,600 3,327
27節 自動車重量税				56 38

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

動物愛護推進事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 犬・猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・ 犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を奨励し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。
- ・ 飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布等により啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,191	3,191	2,179		1,012
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	集合注射会場協力者等謝礼		6	0
9節	会計年度任用職員費用弁償		36	6
11節	消耗品費		542	485
	燃料費		8	4
	印刷製本費		62	62
13節	犬の登録・注射促進協力等業務委託料		765	588
	飼い猫に対する不妊・去勢手術事務委託料		41	19
	犬の登録等管理システム保守委託料		56	56
14節	狂犬病予防集合注射用車両賃借料		118	107
19節	湘南獣医師会補助金		150	150
	飼い猫に対する不妊・去勢手術補助金		750	497
	飼い主のいない猫対策事業補助金		500	148
	マイクロチップ装着推進事業補助金		150	57
22節	過少収納時補てん金		1	0
23節	過年度手数料過誤納還付金		6	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

鳥獣保護管理対策事業

環境保全課

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【事業の目的】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【事業の内容】

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣の捕獲及び県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリス等いわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,105	21,148	20,147		1,001
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		341	317	
13節 有害鳥獣駆除等業務委託料		11,604	19,830	
イノシシ駆除等業務委託料		160	0	
<主な特定財源>				
・国県支出金				8,743